

2015年国際電気通信連合無線通信総会への対応

目次

第1章	総論	2
第2章	RAへの対応 (SG1 関連)	3
第3章	RAへの対応 (SG3 関連)	9
第4章	RAへの対応 (SG4 関連)	20
第5章	RAへの対応 (SG5 関連)	37
第6章	RAへの対応 (SG6 関連)	59
第7章	RAへの対応 (SG7 関連)	82
第8章	RAへの対応 (RAG 関連)	93

2015年国際電気通信連合無線通信総会への対処

第1章 総論

国際電気通信連合無線通信部門（ITU-R）は、無線通信に関する技術及び運用についての研究を行うとともに、各国の無線通信局間の有害な混信を避けるための周波数スペクトル帯の分配、周波数割当ての登録等を行うことにより、無線通信に関する連合の目的を達成することを任務としている。その活動は、我が国の無線通信システムの発展、電波監理、電波監視等にも大きな影響を与えるものである。

平成27年10月26日から10月30日までスイス連邦ジュネーブにおいて開催が予定されているITU無線通信総会（RA-15）では、研究委員会（SG）から提出される勧告案等の承認、次研究会期（2016～2019年）の研究課題、研究体制等について審議が行われることとなっている。

RAにおいて審議される勧告案及び決議案については、我が国としてもこれまで研究委員会での検討に参加し、策定に貢献した成果であることから、我が国の意見が取り入れられているものを中心に基本的に支持することが適当である。

次研究会期の研究課題については、無線システムの発展・周波数利用効率の向上の観点から適当な課題を支持することが適当である。

次研究会期の研究体制については、最新の技術動向を考慮し、多くの専門家が参加しやすい構成とすることが必要である。活動の効率性・技術動向の観点から対応することが適当である。

研究委員会毎の対処の詳細は、次章以降のとおりである。

第2章 RAへの対処（SG1関連）

1 研究対象

SG1は、「周波数管理」を研究対象としている。

2 RA-15に提出される勧告案

RA-15に提出されるSG1の勧告案はない。

3 RA-15に提出される決議案

RA-15に提出される決議案及びその評価一覧を表2-2に示す。提出される5件の決議案に対しては、我が国として、支持する。

4 課題の見直し

SG1における次会期の研究課題及びその評価の一覧を表2-3に示す。

今会期は当初12件の研究課題があり、会期中に1件の新規追加、3件の改訂及び2件の削除を実施（回章によりRA-15までに完了予定。）。RA-15において承認が必要とされる改訂及び削除はない。次会期の研究課題は、我が国として、引き続き研究を支持する。

主な研究課題の概略は、以下のとおりである。

(1) 研究課題 210-2/1

ワイヤレス電力伝送

【概要】

ワイヤレス電力伝送の運用に最も適している周波数帯等について研究するもの。2012年6月のSG1において、中国より研究課題名の変更等の提案がなされ、改訂が承認された。

(2) 研究課題 237/1

275-1000GHz 帯で運用される能動業務における技術・運用特性

【概要】

275-1000GHz 帯で運用される能動業務における技術・運用特性及び共用検討について研究するもの。2013年6月のSG1において、我が国より新規の研究課題として提案を行い、承認された。

5 参考事項

SG1は、2012年6月、2013年6月、2014年6月、2015年6月に開催され、24件の新規及び改訂勧告案が同時採択・承認手続き（PSAA）に付され、承認されている。今会期中にPSAAにより承認された勧告リストを表2-4に示す。

重要課題の審議状況、勧告化の動向を以下に示す。

(1) ワイヤレス電力伝送（WPT）システムのグローバルまたは地域における運用のための周波数帯域に関する検討

WPT用周波数帯域に関する勧告を策定すべく活動中。

2015年6月のSG1では、日、米、韓、イスラエルの寄書を元に、WPTシステム用の周波数帯域に関する Preliminary Draft New Recommendation (PDNR) に向けた作業文書に

ついて、WPT が運用される周波数帯として、6765-6795kHz を記載) したPDNRへ格上げを行った。より効率的な検討のため、コレスポンディンググループ (CG) をラポータグループ (RG) に変更し、2016 年 6 月の次回会合で勧告化を図る予定である。我が国としては、その勧告を議論のベースに、我が国が電気自動車用WPTに使用予定の 79-90kHz について追記することを目指す。

(2) 屋内環境における電波雑音の測定手法に関する検討

日本で実施している屋内環境での電波雑音データ取得方法を勧告化すべく活動中。

2015 年 6 月のSG1では、電波雑音測定方法に関する勧告 SM.1753-2 への追加を目的に勧告改定提案を行ったところ、屋内環境で必要な電波雑音データは、勧告 P.372 における電波雑音の定義と多少違いがあることから、勧告 SM.1753-2 の改定よりも、屋内の電波雑音の測定方法のみを新規勧告とするべきとの提案があり、PDNRに向けた作業文書を作成し、WP3Lへのリエゾン文書及びWP1C議長報告に添付して意見を収集することとされた。

表 2-1 RA-15に提出される勧告案の評価
(なし)

表 2-2 RA-15に提出される決議案

決議番号	決議名	概要	新規継続改訂削除	対応	備考
決議 11-4	開発途上国のためのスペクトル管理システムの開発	開発途上国向けスペクトラム管理システムの開発支援に関するもの。	改訂	支持	
決議 22-3	国内無線スペクトラム管理慣行と技術の改良	開発途上国の国内スペクトラム管理の技術改良に関するもの。	改訂	支持	
決議 23-2	国際監視システムの世界規模への拡大	有害な混信を除去するために国際的な電波監視の協力に関するもの。	改訂	支持	
決議 54-1	短距離無線通信機器 (SRDs) の協調に向けた研究	SRDs に関する研究、並びに、世界的又は地域的調和のための周波数に関するもの。	改訂	支持	
決議 58	コグニティブ無線システム (CRS) の実装と利用に関する研究	CRS に対する研究方針に関するもの。	改訂	支持	

表 2-3 次会期の研究課題及び評価

研究課題番号	課題名	概要及び評価	新規継続改訂削除	備考
205-2/1	周波数利用のための長期的戦略	[概要] 周波数利用の長期戦略の開発のために適当な方法及び開発の過程における重要な技術的事項、非技術的事項等について研究するもの。 [評価] 特段の問題はない。	継続	今会期中に改訂実施
208-1/1	国内周波数管理の新たな方法	[概要] 周波数管理問題の解決のため暫定的周波数管理法について研究するもの。 [評価] 特段の問題はない。	継続	今会期中に改訂実施
210-3/1	ワイヤレス電力伝送	[概要] ワイヤレス電力伝送の運用に最も適している周波数帯等について研究するもの。 [評価] 特段の問題はない。	継続	今会期中に改訂実施
216-1/1	国内周波数管理の方法としての周波数再配置	[概要] 各国で周波数が不足している現状に鑑み、周波数の再配置の手法について研究するもの。 [評価]	継続	今会期中に改訂実施

		特段の問題はない。		
221-2/1	無線通信システムと電力供給線を使用する高速データ通信システムとの共用	[概要] 無線通信システムの保護のため、送電線を用いた通信システムからの輻射レベルの許容値を研究するもの。 [評価] 特段の問題はない。	継続	
222/1	送信機発射の周波数特性の定義	[概要] 無線通信規則第1条の定義に関連して、送信機の発射特性に関する事項を研究するもの。 [評価] 特段の問題はない。	継続	
232/1	宇宙電波監視の方法と技術	[概要] 静止、非静止両衛星及び地球局からの影響を測定する際に、どのような方法、手続、技術、装置が必要か研究するもの。 [評価] 特段の問題はない。	継続	
233-1/1	周波数占有域の測定	[概要] 国際的な調整にも使用されることのある占有帯域幅については、新しい通信方式が現れると、その方式のための定義が必要になる。そのため定義や測定法の研究を求めるもの。 [評価] 特段の問題はない。	継続	
235/1	電波監視の発展	[概要] 新しい技術に基づく無線システムを監視する上で新たに考慮すべき点を検討するための課題。監視機関が周波数管理方法・経済戦略や無線通信技術・システムの発展に対処していく上での必要事項や手法の検討について研究するもの。 [評価] 特段の問題はない。	継続	
236/1	パワーグリッドマネジメントシステムを使用する無線/有線データ通信からの無線通信への影響	[概要] パワーグリッドマネジメントシステムにおける無線技術及び装置の特性、並びに、パワーグリッドマネジメントシステムから受ける無線通信の影響などについて研究するもの。 [評価] 特段の問題はない。	継続	
237/1	275-1000GHz帯で運用される能動業務における技術・運用特性	[概要] 275-1000GHz帯で運用される能動業務における技術・運用特性及び共用検討について研究するもの。 [評価] 特段の問題はない。	継続	今会期中に新規追加

表2-4 今会期中に承認された勧告

勧告番号	勧告名	勧告の内容及びコメント	関連WP/課題番号	新規改訂削除	備考
SM. 329-12	スプリアス領域の不要発射	スプリアス領域の不要輻射について勧告するもの。	WP1A/ N/A	改訂	CACE/585

SM. 575-2	固定監視局の干渉からの保護	固定監視局を干渉から保護するため、最大電界強度レベルについて勧告するもの。	WP1C/ N/A	改訂	CACE/640
SM. 1047-2	国家周波数管理	各国が周波数管理を行う際に検討されるべき事項について勧告するもの。	WP1B/ N/A	改訂	CACE/585
SM. 1051-3	406-406.1 MHz における有害な干渉の特定と除去に関する優先的な対応	コスパス・サーサットが使用する帯域に干渉が見つかった場合、捜索救助活動に支障が出る可能性があるため、優先的な対応するよう勧告するもの。	WP1C/ N/A	改訂	CACE/687
SM. 1052-0	無線局の自動特定	HF 帯の機器プラットフォーム及び VHF 帯の信号識別フォーマットについて勧告するもの。	WP1C/ N/A	削除	CACE/585
SM. 1267-0	静止衛星システムの周波数割当てを支援する監視データの収集及び公表	国際周波数登録簿に記録された静止衛星システムの各種パラメータの信頼性検証のため、監視データの収集及び公表について勧告するもの。	WP1C/ N/A	削除	CACE/585
SM. 1268-3	監視局での FM 放送放射波の最大周波数偏移測定法	監視局での FM 放送放射波の最大周波数偏移測定法として、スペクトルマスクに基づく簡易法と、最大周波数偏移に基づく方法（変調解析）のふたつが示されており、その測定機器、手順、条件について勧告するもの。	WP1C/ N/A	改訂	CACE/687
SM. 1370-2	自動周波数管理システムのための設計ガイドライン	推奨機能を含む自動周波数管理システムのための設計ガイドライン及び国単位での周波数管理のために必要なデータ要素について勧告するもの。	WP1C/ N/A	改訂	CACE/627
SM. 1413-3	無線通信データディクショナリ	周波数割り当ての際の主管庁と BR 間の公表、協調及び通知処理を促進するため、RR の第 4 巻を補完する基準を勧告するもの。	WP1B/ N/A	改訂	CACE/687
SM. 1537-1	電波監視システムの自動化と自動周波数管理への統合	電波監視システムを自動化したり、自動周波数管理への統合を図ったりする際に、システムが備えるべき機能を勧告するもの。	WP1C/ N/A	改訂	CACE/627
SM. 1541-6	帯域外領域での不要発射	帯域外領域放射は、必要な帯域幅の中で最大電力、スペクトル密度以下とすることなどについて勧告するもの。	WP1A/ N/A	改訂	CACE/750
SM. 1600-2	デジタル信号の識別技術	デジタル信号の技術的な識別のため工程、手法やツールについて勧告するもの。	WP1C/ N/A	改訂	CACE/750
SM. 1603-2	国家周波数管理の手段としての周波数再分配	周波数再分配の問題のためのガイドラインを勧告するもの。	WP1C/ 216/1	改訂	CACE/687
SM. 1752-0	自由空間条件下での不要反射の限定	自由空間条件下でのスプリアス領域における不要発射の限定について勧告するもの。	WP1C/ N/A	削除	CACE/585
SM. 1753-2	無線雑音の測定方法	電波ノイズの測定に関して、異なる測定システム間で比較可能な、周波数に依存しない標準的な方法が必要となっている。本勧告は、こうした要請に対	WP1C/ N/A	改訂	CACE/585

		して、電波ノイズの測定について一定の手順を勧告するもの。			
SM. 1837-1	電波監視用受信機の3次インターセプトポイント(IP3)レベルの測定に関する試験手順	電波監視用受信機の利用者にとって重要な技術的パラメータである IP3 レベルを決定するための試験方法を勧告するもの。	WP1C/ N/A	改訂	CACE/627
SM. 1875-2	DVB-T カバレッジ測定とその評価	DVB-T カバレッジ測定とその評価について勧告するもの。	WP1C/ N/A	改訂	CACE/687
SM. 1879-2	無線通信システムに対する高速電力線通信システムの影響	高速電力線通信システムからの干渉を考慮して、30MHz 未満及び 80MHz から 470MHz の間の無線通信システムの保護基準を勧告するもの。	WP1A/ 221-2/1	改訂	CACE/627
SM. 1880-1	周波数占有状況の測定	周波数チャンネル占有率及び周波数帯域占有率の測定手法について勧告するもの。	WP1C/ N/A	改訂	CACE/750
SM. 2028-0	30MHz 未満の周波数帯における誘導システムと既存の無線通信業務間の保護距離計算	30MHz 未満の周波数帯における誘導システムと既存の無線通信業務間の両立性に対処し、誘導システムによる干渉に関して、無線通信業務を保護するための距離を計算するためのわかりやすい手順の概要を勧告するもの。	WP1A/ N/A	新規	CACE/627
SM. 2039-0	電波監視の発展	電波監視の発展の支援のために検討された要件及び技術について記述したものの。	WP1C/ 235/1	新規	CACE/627
SM. 2060-0	DF 精度測定のための試験手順	異なる方向探知 (DF) システム間における比較を容易にするため、DF 精度および報告結果の標準的な試験方法のガイダンスを勧告するもの。	WP1C/ 235/1	新規	CACE/697
SM. 2061-0	マルチパス伝搬に対する DF 耐性測定のための試験手順	固定及び移動の方向探知 (DF) のマルチパス伝搬に対する電磁波耐性を測定するための試験手順を勧告するもの。	WP1C/ 235/1	新規	CACE/697
SM. 2080-0	電波監視用受信機の実出力データにおける時間情報の精度	電波監視用受信機の実出力データにおける時間精度の設定及び測定方法を勧告するもの。	WP1C/ N/A	新規	CACE/750

第3章 RAへの対処（SG3関連）

1 研究対象

SG3は、「電波伝搬」を研究対象としている。

2 RA-15に提出される勧告案

RA-15に提出されるSG3の勧告案及びその評価一覧を表3-1に示す。RA-15に提出される1件の勧告案については、静観するものとする。

3 RA-15に提出される決議案

RA-15に提出される決議案はない。

4 課題の見直し

SG3における次会期の研究課題及びその評価一覧を表3-3に示す。今会期は当初24件の研究課題があり、会期中に7件の改訂及び1件の削除を実施。RA-15において承認が必要とされる改訂及び削除はない。次会期の研究課題は、我が国としてその重要性を認識し、引き続き研究を支持する。

主な研究課題の概略は、以下のとおりである。

(1) 研究課題 211-6/3

300MHz から 100GHz の周波数における近距離無線通信システム及び無線 LAN (WLAN) のための伝搬データと伝搬モデル

【概要】

屋内伝搬勧告 P. 1238、屋外短距離伝搬勧告 P. 1411、遅延および角度プロファイル推定勧告 P. 1816 に対しては、検討周波数帯の拡大に伴う伝搬モデルの充実化や適用領域の拡大等、積極的な寄与を継続しており(13件/今会期)、今後は高周波数帯伝搬モデルの充実等が必要になる。

(2) 研究課題 214-5/3

電波雑音

【概要】

電波雑音勧告 P. 372 の改定に向けて、雑音の測定法、屋内外での雑音強度及びインパルス性雑音の各種パラメータ等が新たに課題として挙げられ、検討が進められている。我が国からも各種屋内環境における測定データや勧告改定案を提出するなど、積極的に寄与を行っている(6件/今会期)。

5 参考事項

SG3は、2013年6月、2015年4月に開催され、39件の改訂及び削除勧告案が郵便投票に付され、承認されている。今会期中に承認された勧告リストを表3-4に示す。

重要課題の審議状況、勧告化の動向を以下に示す。

(1) 新勧告 P. 2040「建物侵入損失推定法」

建物の材質や構造（入り口、窓の形状等）による影響を考慮するための新勧告で、様々な構造による損失の理論式、材質の電気的特性一覧、また建物侵入の損失式と実測結果

などの情報が記載されている。屋外・屋内間の周波数共用検討やピコセル・フェムトセルのような小電力基地局導入時の技術的基準になるものであり、既存の伝搬モデルの各勧告から参照される予定である。

(2) 電波雑音の基本的特性

勧告 P. 372 は電波雑音の基本的特性を示す勧告であり、周波数共用検討や無線回線設計等において本勧告が参照される。我が国の電波利用における有効性を確保するとともに、国際競争力強化のためにも、我が国の電波雑音特性を本勧告に反映させることが重要である。我が国からは、屋内環境での電波雑音の測定結果の寄与により勧告にデータが追加されるとともに、データバンクへの入力フォーマットが我が国の提案したものが承認されるなど大きく貢献をしている。今後は、天空輝度に関する数式や温度に関する文字の使い分け等の修正提案を受けて、改定勧告 P. 372-12 が発行される予定となっている。

(3) 短距離伝搬特性推定方法の検討

屋外短距離伝搬特性に関する勧告 P. 1411 については、高周波数帯での周波数共用評価を可能とする伝搬モデルおよび伝搬データ提供、さらに内容の充実に向けて寄与が求められている状態であり、我が国からもミリ波帯伝搬損推定法等、多くの寄与がなされている。屋内短距離伝搬特性に関する勧告 P. 1238 については、我が国からの提案により対象周波数帯が拡大され、伝搬モデルおよび伝搬データについて寄与が期待されている。屋外における遅延プロファイルや角度プロファイルの時間・空間伝搬モデルに関する勧告 P. 1816 についても、我が国からの寄与により推定可能基地局アンテナ高の拡張を実施した。

表 3-1 RA-15 に提出される勧告案の評価

勧告番号	勧告名	概要	関連WP/ 課題番号	新規 改訂 削除	対応	備考
P. 834-6	対流圏屈折が電波伝搬に与える影響	式(22)を修正。また、Annex 1 の 6 章のタイトルを "Effective path length" から "Excess path length" に変更。またエディトリアルな修正。	WP3J/ 201/3	改訂	静観	CACE/745 郵便投票において修正意見があったため、RA-15 へ提出

表 3-2 RA-15 に提出される決議案
(なし)

表 3-3 次会期の研究課題及び評価

研究課題 番号	研究課題名	概要及び評価	新規 継続 改訂 削除	備考
201-5/3	地上及び衛星通信システム並びに宇宙研究応用の計画に必要な電波気象データ	[概要] 電波気象データの性質、統計、伝搬特性との関係等について研究する。 [評価] 研究課題として適当	継続	
202-4/3	地表における伝搬の推定法	[概要] 地表伝搬の影響をサービシエリアと干渉評価の両方の観点から研究する [評価] 研究課題として適当	継続	今会期中に改訂実施
203-6/3	30MHz 以上の周波数における地上放送、広帯域固定アクセス及び移動業務のための伝搬データと推定法	[概要] 周波数等により影響される電界強度、多重路や時間・空間的統計について研究する。 [評価] 研究課題として適当	継続	
204-6/3	地上見通し回線のための伝搬データと推定法	[概要] 各種の伝搬因子の影響による伝搬損失、局設計のための伝搬データ等について研究する。 [評価] 研究課題として適当	継続	今会期中に改訂実施
205-2/3	見通し外回線のための伝搬データと推定法	[概要] 基本伝送損の統計分布、気候区依存性などを研究する。 [評価] 研究課題として適当	継続	
206-4/3	固定衛星業務と衛星放送業務のための伝搬データと推定法	[概要] 減衰等の長期間統計分布及びその場所依存性、予測法、減衰の統計特性、反射パラメータなどを研究する。 [評価] 研究課題として適当	継続	

207-5/3	約 0.1GHz 以上における衛星移動及び無線標定業務のための伝搬データと推定法	[概要]地形等による電界強度、伝搬ロス等の範囲、端末の環境の影響等について研究する。 [評価]研究課題として適当	継続	今会期中に改訂実施
208-5/3	固定衛星業務と地上業務に影響する周波数共用上の伝搬因子	[概要]周波数共用に関して、信号強度変動の分布、その場所・周波数・季節依存性等を研究する。 [評価]研究課題として適当	継続	今会期中に改訂実施
209-2/3	システム性能解析における変動率と危険率パラメータ	[概要]伝搬の観点からシステム性能解析における変動率と危険率パラメータを研究する。 [評価]研究課題として適当	継続	今会期中に改訂実施
211-6/3	300MHz から 100GHz の周波数における近距離無線通信システム及び無線 LAN (WLAN) のための伝搬データと伝搬モデル	[概要]近距離通信での伝搬モデルや様々な短距離通信業務においてどのようなチャンネル伝搬特性が最も適切かを研究する。 [評価]研究課題として適当	継続	今会期中に改訂実施
212-3/3	電離圏の特性	[概要]無線通信システムに影響を与える電離圏の諸特性やその地域的变化について研究する。 [評価]研究課題として適当	継続	
213-4/3	電離圏及び電離圏貫通無線通信の為の運用パラメータの短期予報	[概要]短期予測の必要性と技術、電離層共鳴及びチャンネル評価の有効性について研究する。 [評価]研究課題として適当	継続	
214-5/3	電波雑音	[概要]雑音の測定法、屋外や屋内の雑音の強度、インパルス性雑音の各種パラメータ等について研究する。 [評価]研究課題として適当	継続	
218-6/3	宇宙通信システムに及ぼす電離圏の影響	[概要]電離層が宇宙通信システムに及ぼす因子(シンチレーション、分散特性等)の推定法及び電離圏貫通無線通信の最適なモデルを研究し、調整距離の設定及び周波数共用並びに非静止衛星の運用に資する。 [評価]研究課題として適当	継続	
222-4/3	測定とデータバンク	[概要]データ収集及び信号測定技術、HF 電界強度測定及びデータバンク編集等について研究する。 [評価]研究課題として適当	継続	
225-7/3	LF 及び MF 帯におけるデジタル変調技術を含めたシステムに影響を及ぼす伝搬因子の予測	[概要]予測法の改善、地上波と空間波の共存が LF 及び MF システムに与える作用、LF 及び MF の各種パラメータ等について研究する。 [評価]研究課題として適当	継続	

226-5/3	衛星伝搬路の電離圏・対流圏特性	[概要] 衛星間伝搬における電離圏の影響の研究、対流圏の影響分離の研究を行う。 [評価] 研究課題として適当	継続	
228-2/3	275GHz 以上の周波数を使う無線通信業務のための伝搬データ	[概要] 地上系、地球から宇宙、宇宙から地球の通信路における大気のパラメータと電磁波の特性の関係や衛星間での自由空間パラメータと電磁波特性との関係について最適なモデルを研究する。 [評価] 研究課題として適当	継続	
229-3/3	1. 6MHz から 30MHz のデジタル変調を用いるシステムのための空間波伝搬特性、信号強度、回線品質及び信頼性の推定法	[概要] 予測された電離圏特性から基本的、運用的 MUF 及び ray path の長期的予測とその変化について勧告 P. 1240 で与えられた方法の改善点を探る研究を行う。 [評価] 研究課題として適当	継続	
230-3/3	電力線通信のための推定法とモデル	[概要] 電力線通信システムから無線周波数エネルギーが放射される作用、単一または複数のシステムから放射される総エネルギーの最適なモデル、干渉評価のための最適な信号強度伝搬モデル等を研究する。 [評価] 研究課題として適当	継続	
231-1/3	人為的発生源からの電磁的放射が無線通信システム及びネットワークの性能に及ぼす影響	[概要] 個別雑音源からの放射分布の記述及び測定法、無線通信システム及びネットワークの性能に及ぼす人工雑音源からの電磁放射の影響とその記述及び定量化について研究する。 [評価] 研究課題として適当	継続	今会期中に改訂実施
232-1/3	ナノ構造の材質が伝搬に及ぼす影響	[概要] ナノ構造の材質における電磁波放射の影響について研究する。 [評価] 研究課題として適当	継続	
233-1/3	飛翔体と衛星、地上局間、または飛翔体間における伝搬損失推定法	[概要] Airborne システムのための伝搬推定モデルについて研究する。 [評価] 研究課題として適当	継続	

表 3-4 今会期中に承認された勧告

勧告番号	勧告名	勧告の内容及びコメント	関連 WP/課題番号	新規改訂削除	備考
P. 311-15	対流圏伝搬研究におけるデータの収集、表示及び解析	・タイトルの変更、語句の明確化、§3 の文章の改定 ・ Recommends 部分の tropospheric を radiowave に変更 ・ Acceptance criteria と表のリストを更新	WP3J/ 201/3	改訂	CACE/636 CACE/745
P. 313-11	短期予報のための情報の交換と電離層じょう乱警報の伝達	時代遅れであり SG3 の他の勧告との関連もないため廃止	WP3L/ 213/3	削除	CACE/636
P. 372-12	電波雑音	日本提案による人工雑音測定データの追加。§6-8 の改定 天空輝度に関する改訂及び可変値 T を t に置き換えるもの	WP3L/ 214-2/3	改訂	CACE/636 CACE/745
P. 373-9	最高・最低伝送周波数の定義	FOT についての定義の再記述	WP3/ 212/3	改訂	CACE/636
P. 452-16	0.1GHz 以上の地表局間干渉評価に必要な推定法	§ “scope” の改定。回折モデルの入れ替え。仰角推定法の改定。 以下 3 点の改訂 ・ 4.6 章の Annex1 における式 (58) の修正 ・ 第 5 章の Annex1 に多数の修正点 ・ 第 4 章付属書 2Annex1 は式 (152) の削除を提案している	WP3M/ 208/3	改訂	CACE/636 CACE/745
P. 453-11	電波屈折率：その表式と屈折指数データ	次の 2 点の改訂を提案 ・ 第 1 章 Annex1 において乾燥空気の圧力の定義の明確化の追加 ・ 第 3.1、3.2 章において新デジタル地図の追加	WP3J/ 201/3	改訂	CACE/745
P. 526-13	回折による伝搬	誤字改訂および § 4.5 中の地表の計算についての新しい手法を追加。	WP3J/ 202/3	改訂	CACE/642
P. 530-16	地上見通し内無線中継方式設計に必要な伝搬データと推定法	Step2 および figure2 キャプションの文章の改定。 § 2.3.1 の追加。§ 2.3.8 に新しい地図およびモデルの追加。 2.3.8 章に対し、10 秒以上持続する減衰数 (N_10s) の修正提案 2.4.2 章に対し、湿った雪による減衰モデルを改訂する提案	WP3M/ 204/3	改訂	CACE/636 CACE/745
P. 531-12	宇宙機を含む無線通信	IRI モデルのバージョンアップ	WP3L/	改訂	CACE/636

	システムに影響を及ぼす電離圏効果	プに関連する部分の改訂	218/3		
P. 533-13	HF 回線品質推定法	計算プログラムの改定、MUFの計算法の改定。適用伝搬距離を7000 kmから9000 kmに拡張。明確化のための改訂が2点、計算法の修正のための改訂が2点。	WP3L/ N/A	改訂	CACE/636 CACE/745
P. 617-3	見通し外無線中継方式設計に必要な伝搬データと推定法	Annex1 中の予測手法等を地平線越え無線中継システムの検討に適応可能な形に改訂	WP3M/ 205/3	改訂	CACE/636
P. 618-12	衛星通信方式設計に必要な伝搬データと推定法	・散乱、マルチパスによる減衰予測法の3つのパートを明確にするため文章を追加。散乱と低仰角減衰の改定。Annex 1 に対し以下の修正 ・ § 2.2.1 を追加し、斜めパスでの降雨減衰の確率を段階的に求める推定法を記載 ・ § 2.2.1.2 と同一の脚注の § 2.2.4.2 にエディトリアルな修正 ・ 式(58)の修正。エディトリアルな修正及び大気の平均放射温度の推定の簡素化	WP3M/ 206-3/3	改訂	CACE/636 CACE/745
P. 676-10	大気ガスによる減衰	酸素吸収線のアップデートおよび図1~3の改定	WP3J/ 201/3	改訂	CACE/636
P. 678-3	伝搬現象の自然変動の特性	タイトルの変更と § 2 の追加 Climatic ratio の新地図の追加と一部エディトリアルな修正	WP3J/ N/A	改訂	CACE/636 CACE/745
P. 679-4	衛星放送方式の設計に必要な伝搬データ	以下の修正を提案 ・ Considering 部分に「勧告 ITU-R P. 2040 は、電波伝搬における材料特性や構造を構築する効果についての提供している」という文を追加。 ・ 4.1 章 Annex1 中の “Building Entry Loss” を “Material relating to building entry loss can be found in Recommendation ITU-R P. 2040 “にすべて置き換える。	WP3/ N/A	改訂	CACE/745
P681-8	陸上移動衛星通信方式設計に必要な伝搬データ	本勧告の第6章及び8.1章に、1.5~20 GHz の間の様々な伝搬環境における新しい狭帯域モデルを追加、文末に Annex2 を追加する提案		改訂	CACE/745
P. 832-4	大地導電率の世界地図	〔概要〕 主に、以下2点を修正	WP3L/ N/A	改訂	CACE/740

		<p>1) ブラジルの地図を新たに追加するもの。 2) ドイツの大地伝導率に関する地図を更新するもの</p> <p>[評価] 各国の大地導電率について、より最新の正確な情報を得られるようになるものであり、我が国を含め各国の混信検討の精度の向上等に寄与するものであるため承認を支持する。</p>			
P. 833-8	植生による減衰	1-100GHz における単独樹木の効果の推定法を追加	WP3J/ 202/3	改訂	CACE/636
P. 836-5	地表の水蒸気密度	「Annex1, 2 の情報は地表水蒸気密度あるいは全カラム量を必要とする地球規模の伝搬効果に使用すべき」の観点から改訂。	WP3/ N/A	改訂	CACE/636
P. 839-4	推定法に用いる降雨高度モデル	雨の高さの指標として0°Cの等温線の高さh0を導入	WP3/ N/A	改訂	CACE/636
P. 840-6	雲と霧による減衰	式 6-11 の改定、図 1 の消去、§ 3-5 の改定	WP3J/ 201/3	改訂	CACE/636
P. 842-5	HF 無線通信システムの信頼性と適合性の計算	§ 9 を消去、Appendix1 に放送への適用に関する新たな記述を追加	WP3L/ N/A	改訂	CACE/636
P. 1057-4	電波伝搬モデリングに関連した確率分布	確率分布について、§ 5, 6 の Rayleigh 分布のパラメータを明確化、Nakagami-Rice 分布の移送の確率密度関数の説明を追加。 第 5 章における誤りの修正と、対数正規分布とレイリー分布を組み合わせた分布への修正案	WP3J/ N/A	改訂	CACE/636 CACE/745
P. 1144-7	SG3 の伝搬推定法適用の手引き	表 1 (ITU-R 電波伝搬推定方法) の更新、表 2 の修正、Annex1 の修正及び更新	WP3M/ N/A	改訂	CACE/745
P. 1238-8	900MHz から 100GHz の周波数帯における屋内無線通信システム/無線 LAN の計画のための伝搬データと推定モデル	次の 8 点の改訂を提案 (1) 対象周波数を 900MHz ~ 100GHz から 300MHz ~ 100GHz へ下限を変更 (2) noting b) に勧告 P. 2040 に関する記述を導入 (3) 3.1 章において式(1)を基準距離パラメータを含むように改訂 (4) 4.3 章における遅延拡散のデータと関連文書を一部削除し、表の脚注に記載 (5) 現行の 4.4 章を削除し、新測定データを提供する新	WP3K/ 211-5/3	改訂	CACE/745

		<p>たな項を追加 (6) 7章「建物素材や家具の影響」および7章の計算方法に関する Appendix の ITU-R 勧告 P. 2040 と重複する部分を削除するよう修正 (7) 9.3 章において新たな視点のデータ表と文書による新たな項を追加 (8) 複数個所のエディトリアルな修正</p>			
P. 1240-2	基本 MUF、運用 MUF、電波通路の予測法	<p>P. 1240 における MUF (最大使用可能周波数) の $d_{max}(km)$ (シングルホップ F2 モードにおける最大地上距離) の計算式に誤りが見つかったため、P. 533 の d_{max} との整合をとり修正するもの</p> <p>[評価] 複数の勧告における表記を一致させる改訂であり、表現の適正化であるため改訂を支持する。</p>	WP3/ 212/3, 223/3	改訂	CACE/740
P. 1321-5	LF/MF 帯におけるデジタル変調技術を用いるシステムに影響を及ぼす伝搬因子	<p>日中の地上波伝搬の時間変動の除法を追加 MF 帯の地上伝搬の季節的変動に関する情報を更新するもの</p>	WP3L/ 225/3	改訂	CACE/636 CACE/745
P. 1322-1	大気減衰の放射計測による推定	P. 372 の内容と同一のため廃止	WP3/ N/A	削除	CACE/745
P. 1406-2	VHF 及び UHF 帯陸上移動通信業務に関連する伝搬の効果	勧告 ITU-R P. 2040 に定められている、建物侵入損失に関する記述を本勧告に反映させる改訂及び図 2 におけるエディトリアルな修正	WP3K/ 203/3	改訂	CACE/745
P. 1407-5	マルチパス伝搬及びその特性のパラメータ化	Annex1 の記載を WP3J 議長報告に合わせて改定。 § 4 “Parameters of the received signal variations” を追加。 Annex2 § 3 の改定。	WP3J/ 203/3	改訂	CACE/636
P. 1411-8	300MHz から 100GHz の周波数帯における屋外無線通信システム/無線 LAN の計画のための伝搬データと推定モデル	<p>セクション構成の変更、用語の統一のほか、§ 6. 2 の改定、§ 8 の追加 次の 8 点の改訂を提案 (1) 4. 1. 1 章 “LoS situation” へ見直し内伝搬損失の数式および 28GHz と 60GHz の測定データの追加 (2) 4. 2. 2 章の屋根越え伝搬モデルにおける数式の修正および 28GHz までの適用周波</p>	WP3K/ 211/3	改訂	CACE/636 CACE/745

		<p>数の拡張</p> <p>(3) 4.3 章 “Models for propagation between terminals located from below roof-top height to near street level” への低アンテナ高における伝搬損失推定式の追加</p> <p>(4) 5.1.2 章 “Delay spread for below roof-tops propagation environments” へ 30GHz と 60GHz の遅延スペクトルのデータ追加</p> <p>(5) 5.1.3 章 “Delay spread for propagation between terminals located at street level” および 5.2.2 章 “Angular spread for propagation between terminals located at street level” の追加と測定データの追加</p> <p>(6) 9 章 “Propagation characteristics for high Doppler environments” および 200km/h での走行時に取得した遅延スペクトルのデータ追加</p> <p>(7) 4.5.2 章 “Building entry loss” を ITU-R 勧告 P. 2040 を参照するよう修正</p> <p>(8) 複数のエディトリアルな修正</p>			
P. 1511-1	地上-衛星間伝搬モデル	ITU-R 勧告 P. 1511 がデジタル地図なしでは使用できないため、デジタル地図を勧告の一部として扱う旨を提案している。	WP3/ 202/3	改訂	CAGE/745
P. 1546-5	30MHz-3GHz 帯陸上通信のためのポイント-エリア伝搬特性推定法	1 km以下の短距離にも適用可能にするために、Annex5 に短距離の扱いを記載。	WP3K/ N/A	改訂	CAGE/636
P. 1621-2	20THz~375THz における地上~衛星間方式設計に必要な伝搬データ	Bufton 風プロファイルの修正、Huffnagel-Valley 5/7 Cn2 デフォルトのプロファイルに関する情報を追加	WP3/ 228/3	改訂	CAGE/745
P. 1812-4	VHF 及び UHF 帯ポイント-エリア陸上移動業務のためのパススペシフィック伝搬推定法	表に入力パラメータを追加。noting 部分の追加、§ 1、§ 2、§ 3.2、§ 4.9 と § 4.10 の更新	WP3K/ 203/3	改訂	CAGE/636 CAGE/745
P. 1816-3	UHF 及び SHF 帯の広帯域陸上移動通信のための時間・空間プロファイル推定法	・日本提案に基づき、Annex1 及び Annex2 を改訂し、Annex3 に新しいセクションを追加 ・現行勧告の Annex 3 に記載	WP3K/ 211/3	改訂	CAGE/636 CAGE/745

		されている到来角度プロファイル推定式の端末 (MS) 側アンテナ高について適用範囲を低アンテナ高まで拡張するもの。			
P. 2001 -2	30MHz から 50GHz の周波数帯における汎用かつ広範囲に適用可能な地上伝搬モデル	単位、変数名、参照する §、式、ファイル名の修正。式フォーマットの見直し。デジタル生成物参照のための章の追加。 P. 452、P. 526 及び P. 1812 との一貫性のための修正、水蒸気密度のための地表高の計算方法の改定	WP3M/ N/A	改訂	CACE/636 CACE/745
P. 2040 -1	100MHz を超える電波伝搬における建物侵入損失の影響	建物の材質や構造による影響を考慮するための新勧告案で、様々な構造による損失の理論式、材質の電気的特性一覧、また建物侵入の損失式と実測結果などの情報が記載。 noting と recommends 部分の追加、§ 2 と § 3 の更新、§ 4. を新レポートに移動、建物侵入損失の定義及び測定ガイドラインを新 Annex 2 に追加	WP3J/ N/A	新規 改訂	CACE/636 CACE/745
P. 2041	空中プラットフォーム-衛星間、空中プラットフォーム-地上間のリンクのパス減衰の予測	空中プラットフォームと衛星間および空中プラットフォームと地上間における様々な伝搬効果を推定する手法	WP3/ N/A	新規	CACE/636

第4章 RAへの対処（SG4関連）

1 研究対象

SG4は、「衛星業務」を研究対象としている。

我が国からは、SG4副議長として、河合宣行氏（KDDI）を選出している。

2 RA-15に提出される勧告案

RA-15に提出されるSG4関連の勧告案及びその評価一覧を表4-1に示す。提出される勧告案1件については、我が国として、支持の対処を行う。

3 RA-15に提出される決議案

RA-15に提出される決議案はない。

4 課題の見直し

SG4における次会期の研究課題及びその評価一覧を表4-1に示す。今会期は当初55件の研究課題があり、会期中に3件の新規追加、1件の改訂を実施（回章によりRA-15までに完了予定。）。RA-15において承認が必要とされる改訂及び削除はない。次会期の研究課題は、我が国として、引き続き研究を支持する。

主な研究課題の概略は、以下のとおりである。

(1) 研究課題 274/4（WP 4A 関係）

スペクトル／軌道の利用を改善するための技術方法

【概要】

同じ周波数帯で運用し、かつ静止軌道（GSO）の近隣位置をもつ異なる衛星システム間の混信を軽減するために使用される地球局の技術などについて、研究するもの。

(2) 研究課題 292/4（WP 4B 関係）

UHDTV 衛星放送システム

【概要】

本研究課題はUHDTV衛星放送についてAPSK、LDPC等の最新技術動向を考慮しつつ大容量伝送を可能とする伝送方式や降雨減衰対策の研究を行うもの。

(3) 研究課題 288/4（WP 4C 関係）

無線航行衛星業務（宇宙から地球、宇宙から宇宙、地球から宇宙）システムの特性及び運用要件

【概要】

他の業務又はシステムとの共用及び両立性研究で使用されるための無線航行衛星業務（RNSS）システムの技術及び運用特性について、研究するもの。

5 参考事項

SG4は、2012年9月、2013年10月、2014年7月、2015年6月に開催され、24件の新規及び改訂勧告案が郵便投票に付され、承認されている。今会期中に郵便投票により承認された勧告リストを表4-4に示す。

重要課題の審議状況、勧告化の動向を以下に示す。

(1) 1 545-1 555 MHz（宇宙から地球）及び1 646.5-1 656.5 MHz（地球から宇宙）帯におけるRR44条の優先カテゴリー1から6に関連するAMS(R)Sの周波数要求量の計算方法に

ついて

これまで 1 545-1 555 MHz (space-to-Earth) 及び 1 646.5-1 656.5 MHz (Earth-to-space) GHz 帯における RR44 条の優先カテゴリ-1 から 6 に関連する AMS(R)S の周波数要求量の計算方法に関する勧告について検討が行われ、我が国も寄与をしてきた。本勧告は 2013 年 10 月 SG4 会合において合意され郵便投票に付されたが、ロシアの反対により採択されず、WP に差し戻され、再度審議された。その後ロシアとの調整が行われ、2015 年 6 月 SG4 会合において新勧告 M. [AMS(R)S. METHODOLOGY] が合意されたが、郵便投票において RA-15 へ提出されることとなった。

(2) 無線航行衛星業務システムの特性に関する勧告の更新について
我が国から準天頂衛星 (QZSS) に関していくつかの勧告の更新提案を行い反映されている。

ア 改訂勧告案 M. 1787

本勧告は、1164-1215 MHz 帯、1215-1300 MHz 帯及び 1559-1610 MHz 帯で運用する無線測位衛星業務 (RNSS) (宇宙から地球及び地球から宇宙) のシステム特性を規定する勧告である。改訂の内容は、QZSS の体制を全衛星 3 機のコンスタレーションから全衛星 7 機のコンスタレーションへ更新するものであり、我が国が提案したものである。

イ 改訂勧告案 M. 2031

本勧告は、5010-5030MHz 帯の RNSS (宇宙から地球) 受信地球局の特性及び保護基準並びに送信宇宙局の特性を規定するものである。我が国からの提案により、ITU-R 勧告フォーマットに合わせるエディトリアルな修正及び QZSS に関する情報を最新のものに更新している。

ウ 改訂勧告案 M. 1906

本勧告は 5000-5010MHz 帯の RNSS (地球から宇宙) 受信宇宙局の特性及び保護基準並びに送信地球局の特性を規定するものである。我が国からの提案により、ITU-R 勧告フォーマットに合わせるエディトリアルな修正及び QZSS に関する情報を最新のものに更新している。

表 4-1 RA-15 に提出される勧告案の評価

勧告番号	勧告名	概要	関連W P / 課 題番号	新規 改訂 削除	対応	備考
M. [AMS (R) S. MET HODOLOGY]-0	1 545-1 555 MHz (space-to-Earth) 及 び 1 646.5-1 656.5 MHz (Earth-to-space) GHz 帯における RR44 条の優 先カテゴリ-1 から 6 に関連する AMS (R) S の 周波数要求量の計算方 法	本勧告は 1 545-1 555 MHz (space-to-Earth) 及び 1 646.5-1 656.5 MHz (Earth-to-space) GHz 帯 における RR44 条の優先 カテゴリ-1 から 6 に関 連する AMS (R) S の周波数 要求量の計算方法を勧告 するものである。	WP4C	新規	支持	

表 4-2 RA-15 に提出される決議案
(なし)

表 4-3 次会期の研究課題及び評価

研究課 題番号	勧告名	概要及び評価	新規 継続 改訂 削除	備考
42-1/4	固定衛星業務における地 球局のアンテナの特性	[概要] FSS の地球局及び同じ周波数帯を 使用する他の局の近傍と遠方場パ ターンとの関係などについて、研 究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4A
46-3/4	固定衛星業務における望 ましい多元接続特性	[概要] FSS で使用される網の特性、変調方 法及び異なるシステムの特性を考 慮した望ましい多元接続方法など について、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4B
70-1/4	15 GHz 超の周波数におけ る固定衛星業務の送信地 球局からの許容できない 混信に対する静止衛星軌 道の保護	[概要] 15 GHz 超における地球局の発射に より生じる許容できない混信に対 し、固定衛星業務における静止宇 宙局の保護の基準のための適切な フォーマットなどについて、研究 するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4A
73-2/4	固定衛星業務のデジタル 経路のトラフィックへの 可用性及び妨害	[概要] ビット誤りの送信又はバーストに おける切断のような可用性及び短 期間の妨害に影響を与える仮想参	継続	WP4B

		照デジタル経路の衛星部分内の重要な要因などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。		
75-4/4	固定衛星業務及び移動衛星業務における国際的なデジタル伝送回線の性能目標	<p>[概要]</p> <p>ITU-T により特定される性能基準を満たす必要のある誤り補正のための符号化／復号化技術などについて、研究するもの。本改訂案は、Q. 75-3/4 が 1995 年以降更新されておらず、“considering” の部分が最新の技術に合っていないため、最近の衛星通信システムの進展を反映するためのものである。具体的な改訂内容は以下のとおり。</p> <p>○本研究課題の対象を「fixed～」から「fixed～and mobile～」に拡張。</p> <p>○“considering” の d)、e)、f) において、古い情報を削除し、関連する ITU-T 勧告 (G. 826、G. 828、Y. 1541) に関する情報と差し替えた。</p> <p>○“considering” g) において、衛星がサポートしている伝送モードとして記載されている ATM を削除し、IP-based services に変更。</p> <p>○“considering” に新たな項目 h) を追加し、「適応伝送技術を用いている、時間変動するチャンネル条件をサポートする衛星システムが ITU-R 勧告 S. 1062 とは異なる運用目標を要求することがある」ということを追記。</p> <p>○“decides” の 2 において、ATM に関する記載を削除。</p> <p>○ “decides” の 4 を、“considering” の e) の修正に伴い削除。</p> <p>○本研究課題の検討期限を 2013 年から 2015 年に変更。</p> <p>[評価]</p> <p>本件は、システム全体の回線性能目標等となっている ITU-T 勧告の改訂や衛星通信システムの進展に合わせて課題を更新したものであり、我が国が出席した平成 24 年 9 月の SG4 において合意されたものである。我が国としては、特に</p>	継続	WP4B 今会期中に改訂実施

		問題なく支持して差し支えない。		
83-6/4	移動衛星業務内の無線スペクトル及び周波数の共用の有効利用	<p>[概要] 移動衛星業務（MSS）にすでに分配されている周波数帯内における衛星から移動地球局へのリンク及び移動地球局から衛星へのリンクについて、技術及び運用の視点から、望ましい周波数帯などについて、研究するもの。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	継続	WP4C
84-4/4	移動衛星業務における非静止衛星軌道の使用	<p>[概要] 移動衛星業務を提供するのに適した非静止衛星軌道の種類などについて、研究するもの。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	継続	WP4C
87-4/4	移動衛星通信システムの送信特性	<p>[概要] 陸上移動衛星システム、全世界的な海上遭難安全システム（GMDSS）を含む海上移動衛星システム、航空移動衛星システム及び前述のシステムの二以上の組合せを取り込んだ移動衛星システムのための望ましい送信特性などについて、研究するもの。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	継続	WP4B/WP4C
88-1/4	移動衛星業務の伝搬及び移動地球局アンテナ特性	<p>[概要] いくつかの移動地球局が静止軌道において衛星に向け 5° 以下の仰角をもちうることを考慮して、海上利用、航空利用、陸上利用のためのアンテナシステムの望ましい種類及びそれらの特性などについて、研究するもの。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	継続	WP4C
91-1/4	無線測位衛星業務の技術及び運用特性	<p>[概要] 無線測位衛星業務におけるシステムの望ましいシステム構想並びに技術及び運用特性などについて、研究するもの。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	継続	WP4C
109-1/4	1530-1544 MHz 帯及び 1626.5-1645.5 MHz 帯で運用する移動衛星システムの全世界的な海上遭難安全システムの要件	<p>[概要] さまざまな海洋域で全世界的な海上遭難安全システム（GMDSS）の遭難及び安全通信を同時に実施するのが見込まれる船舶地球局の総数の割合などについて、研究するもの。</p> <p>[評価]</p>	継続	WP4C

		特に問題なし。		
110-1/4	航空移動衛星 (R) 業務への混信	[概要] 航空移動衛星 (R) 業務 (AMS (R) S) への混信の計算の推奨される方法などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4C
201-1/4	移動衛星業務と他の業務との周波数共用	[概要] 移動衛星業務 (MSS) と他の業務との共用を促進する適切な技術及び運用手段などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4C
203-1/4	静止衛星軌道の有効利用への小型アンテナの使用の影響	[概要] FSS 帯における小型アンテナを使用する業務と他の通信業務間の混信の潜在レベルなどについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4A
205-1/4	移動衛星業務により使用される固定衛星業務の非静止衛星フィーダリンク間の周波数共用	[概要] 非静止軌道移動衛星業務 (MSS) により使用される固定衛星業務フィーダリンクの最新の技術特性などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4A/WP4C
208/4	固定衛星業務における衛星網間の混信の評価における統計的・確率的方法の使用	[概要] 統計的又は確率的な性質であるネットワーク間混信の評価における要素などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4A
209/4	静止衛星システムの上り及び下りの両リンクのため固定衛星業務に分配された周波数帯の使用	[概要] 固定衛星業務 (FSS) (宇宙から地球) の宇宙局が、地球から宇宙への周波数分配を放送衛星業務 (BSS) フィーダリンクと共用することが可能である条件及び範囲などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4A
210-1/4	1-3 GHz 帯における移動衛星業務の世界的非静止衛星システムで運用する移動地球局の技術特性	[概要] 世界的非静止軌道移動衛星業務 (MSS) システムで運用する移動地球局の適切な技術特性について、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4C
211-2/4	移動衛星業務の混信基準及び計算方法	[概要] 混信計算方法に関する ITU-R 文章により定められる与干渉と被干渉	継続	WP4C

		の搬送波の種類組み合わせなどについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。		
214/4	可動及び再構成可能な衛星ビームの技術関係	[概要] 調整手続のための可動及び再構成可能な衛星ビームの関係などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4A
217-2/4	ICAO 世界航行衛星システムにおける無線航行衛星業務への混信	[概要] 世界航行衛星システム（GNSS）の航空路、ターミナル並びに着陸進入及び着陸の運用への有害な混信がないことを確保するために、1559-1610 MHz 帯における固定業務からの最大許容混信レベルなどについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4C
218-1/4	固定衛星業務における機上処理衛星と地上網との両立性	[概要] デジタルベースバンド機上処理（OBP）の使用によって潜在的に影響を受ける特定の網及びトラフィックパラメータなどについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4B
227/4	移動衛星業務における非常通信の技術及び運用特性	[概要] 航空移動運用を除く全世界的な海上遭難安全システム（GMDSS）の非常運用以外の非常運用のための静止又は非静止衛星システムを使用する無線通信を提供する移動衛星システムの望ましい技術及び運用性能などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4B/WP4C
231/4	非静止衛星を使用する固定衛星業務の網と固定衛星業務の他の網との共用	[概要] 非静止軌道固定衛星業務（FSS）網で使用される可能性のある技術特性などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4A
233/4	専用利用者デジタル衛星通信システム及び関連するアーキテクチャ	[概要] デジタル送信のための専用利用者システムの設計及び構築を促進するために、考えられる、望ましい網のアーキテクチャなどについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4A/WP4B
236/4	固定衛星業務のための混	[概要]	継続	WP4A

	信基準及び計算方法	混信計算方法及び基準に関し、ITU-R 勧告 S. 741-2 に含まれず、他の ITU-R 文書に含まれる与干渉及び被干渉固定衛星業務 (FSS) 搬送波種類の組み合わせなどについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。		
244/4	5091-5250 MHz 帯の移動衛星業務 (非静止) のフィーダリンクと 5000-5250 MHz 帯の航空無線航行業務との共用	[概要] 5091-5250 MHz 帯における非静止軌道移動衛星業務 (MSS) フィーダリンク及び 5000-5250 MHz 帯における異なる航空無線航行システムの運用から生じる異なる混信の仕組みなどについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4A
245-1/4	帯域外及びスプリアス発射の制限	[概要] さまざまな周波数帯における固定衛星業務 (FSS)、放送衛星業務 (BSS)、移動衛星業務 (MSS) 及び無線測位衛星業務 (RDSS) により達成される実際のスプリアス発射レベルなどについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4A/WP4C
248/4	5 GHz 周辺の固定衛星業務と無線デジタル網との周波数共用	[概要] 無線デジタル網装置の総数により宇宙に向け放射される最大輻射電力密度を決定する要因などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4A
263-1/4	インターネット又は上位層プロトコルのパケットの送信のための固定衛星業務におけるデジタルリンクの性能目標	[概要] IP を支援するのに必要な参照衛星網アーキテクチャなどについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4B
264/4	275 GHz 超で運用する固定衛星業務の網の技術及び運用特性	[概要] 静止軌道 (GSO) 及び非静止軌道 (non-GSO) 固定衛星業務に関し、275 GHz 超の周波数における地球から宇宙、宇宙から地球及び宇宙から宇宙のリンクの技術及び運用特性などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4A
266/4	20/30 GHz 帯の静止軌道固定衛星網で運用する高密度固定衛星業務地球局の技術特性	[概要] ユビキタス的に展開される高密度静止軌道 (GSO) 固定衛星業務 (FSS) 地球局の技術的特性について、研	継続	WP4A

		究するもの。 [評価] 特に問題なし。		
267/4	固定衛星網の公表、調整及び通告に関連する技術及び運用検討	[概要] 固定衛星業務（FSS）の主官庁及び無線通信局（BR）の両者に一般に役立つ FSS 網の「公表、調整及び通告」（APCN）に必要な、及び提供される技術及び運用データの改善などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4A
268/4	打上前の衛星の不要発射レベルの評価のための方法の作成	[概要] 受動業務の受信機が有害な影響を受けないように、打上前に衛星からの不要発射レベルを測定又は推定する方法について、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4A
270-1/4	広帯域拡散信号を使用する固定衛星業務システム	[概要] 固定衛星業務（FSS）分配の帯域内にある、広帯域拡散信号を使用する FSS システムの適切な特性などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4A
271/4	意図しない利用による衛星ニュース収集（SNG）間の混信	[概要] 衛星ニュース収集（SNG）運用者により使用される利用手続の推奨される装置などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4B
272/4	37.5-38 GHz 帯及び 40-40.5 GHz 帯における固定衛星業務（FSS）と宇宙研究業務との周波数共用	[概要] 37.5-38 GHz 帯及び 40-40.5 GHz 帯における宇宙研究業務（SRS）と固定衛星業務（FSS）で運用するシステム間の共用を促進する基準及び技術について、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4A
273/4	現在及び計画中の衛星網をもつ境界及び開発地域への民間航空通信システムの現代化及び通信システムの拡張の支援	[概要] 航空通信業務を伝える移動衛星業務（MSS）及び／又は固定衛星業務（FSS）網を考慮する必要がある開発地域及び遠隔地に特に関連した最新の航空通信業務の技術及び運用特性などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4A/WP4B/WP4C
274/4	スペクトル／軌道の利用	[概要]	継続	WP4A

	を改善するための技術方法	同じ周波数帯で運用し、かつ静止軌道（GSO）の近隣位置をもつ異なる衛星システム間の混信を軽減するために使用される地球局の技術などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。		
275/4	次世代網の要素を形成する固定衛星及び移動衛星業務におけるデジタルリンクの性能目標	[概要] 次世代網（NGN）を支援するために必要な衛星参照網アーキテクチャなどについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4B
276/4	移動衛星業務におけるデジタル経路の可用性	[概要] 送信の異なる種類のアプリケーションについての移動衛星業務の仮想デジタル経路における可用性の定義などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4B
277/4	デジタル移動衛星業務の性能目標	[概要] 適切な仮想参照デジタル経路におけるビット誤り性能目標及びビット誤り性能分配などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4B
278/4	無線通信規則第 21 条に従う電力束密度制限を満たす運用設備の使用	[概要] 電力束密度のレベルの調整のためのエネルギー分散、バックオフ制御及び他の技術などの運用設備の使用に関する宇宙システムの実設計性能などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4A
279/4	高精細度テレビジョンの衛星放送	[概要] 衛星送信のための高精細度テレビジョン（HDTV）システムの最適パラメータ及び衛星チャンネル配置などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4A
280/4	放送衛星業務の受信地球局アンテナ	[概要] （個別受信及び共同受信の両方について）BSS 受信地球局アンテナの測定される同一偏波及び交差偏波の放射特性などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4A
281/4	放送衛星業務（音声及びテレビジョン）における	[概要] 帯域幅及び費用の検討から最適パ	継続	WP4A

	デジタル技術	ラメータを推定することを目的とした評価に基づく、適切な誤り訂正符号化及び／又は誤り隠蔽処理などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。		
282/4	1-3 GHz の周波数範囲における放送衛星業務（音声）の導入に関連した周波数共用問題	[概要] 雑音及び混信の性能要件並びに混信の計上を含む、放送衛星業務（BSS）（音声）システムの望ましい技術及び運用特性などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4A
283/4	放送衛星業務における高精細度テレビジョンと他の業務との共用研究	[概要] 高精細度テレビジョン（HDTV）が12、17及び21 GHz 帯で使用される場合の BSS と BSS 帯を共用する他の業務との共用のための適切な技術規定などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4A
284/4	1-3 GHz の周波数範囲における放送衛星業務（音声）の導入に関連したスペクトル管理	[概要] すべての放送音声業務の既存の容量を利用する最も有効な方法などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4A
285/4	放送衛星業務における複合業務及び番組のデジタル放送	[概要] 複合業務の衛星放送のための適切な及び／又は最適な変調及びチャンネル符号化技術、実際のチャンネル伝送速度（容量）、実現できる性能（例えば、C/N 及び C/I に応じた BER）などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4A
286/4	移動及びアマチュア業務及び関連衛星業務の災害通信の改善への寄与	[概要] 災害警報、軽減及び救援活動のための無線通信の技術、運用及び関連する手続面などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4C
287/4	移動衛星業務におけるパケット網送信の技術及び運用特性	[概要] 移動衛星業務（MSS）におけるパケットデータ送信の技術及び運用特性を定めるための適切な送信モデル（又は仮想参照接続）などにつ	継続	WP4B

		いて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。		
288/4	無線航行衛星業務（宇宙から地球、宇宙から宇宙、地球から宇宙）システムの特性及び運用要件	[概要] 他の業務又はシステムとの共用及び両立性研究で使用されるための無線航行衛星業務（RNSS）システムの技術及び運用特性について、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4C
289/4	双方向衛星放送システム（テレビジョン、音声及びデータ）	[概要] ケーブル、衛星主アンテナ、地上中継、交換網又は直接衛星受信により受信される双方向衛星放送システムのための方法及びチャンネルなどについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4B
290/4	公衆警報、災害軽減及び救援のための放送衛星の手段	[概要] 国境を越え、情報を広め、小又は大人口に伝えるために利用できる放送衛星システムなどについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4B
291/4	Integrated MSS のシステムアーキテクチャ等の検討	[概要] 本新研究課題案は、Integrated MSS のシステムアーキテクチャ等を検討するためのもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP4B 今会期中に新規追加
292/4	UHDTV 衛星放送システム	[概要] 本研究課題は UHDTV 衛星放送について APSK、LDPC 等の最新技術動向を考慮しつつ大容量伝送を可能とする伝送方式や降雨減衰対策の研究を行うもの。 [評価] 我が国提案の研究課題であり、支持する。	新規	WP4B 今会期中に新規追加
293/4	FSS 及び BSS で用いられる小規模(d/λ30 前後)地球局のアンテナ放射図及びパターン	[概要] 本研究課題は小型アンテナの放射パターンについて研究を行うもの。 [評価] 特に問題なし。	新規	WP4A 今会期中に新規追加

表 4-4 今会期中に承認された勧告

勧告番号	勧告名	勧告の内容及びコメント	関連WP／課題番号	新規改訂削除	備考
M. 2030-0	1164-1215 MHz、1215-1300 MHz 及び 1559-1610 MHz 帯で運用する無線航行衛星業務以外の電波源から無線航行衛星業務のシステム及び網へのパルス混信の評価モデル	本勧告案は、1164-1215 MHz、1215-1300 MHz 及び 1559-1610 MHz 帯で運用する無線航行衛星システム及び網へ、パルス混信を引き起こす無線航行衛星業務以外の電波源に対する一次評価方法を定めている。	WP4C / 288/4 217-2/4	新規	2013.1 CACE/599
S. 2029-0	TDMA で運用する小型地球局の網により静止固定衛星業務網に生じる、時間的に変化する混信を評価するための統計方法	本勧告案は、TDMA で運用する小型地球局の網から、静止固定衛星業務網に与える、時間的に変化する混信を評価するための統計方法を定めている。この方法は、別の静止固定衛星業務網への混信も考慮している。	WP4A / N/A	新規	2013.1 CACE/599
M. 1850-1	IMT-2000 の衛星コンポーネントにおける無線インターフェースの詳細な特性	ITU-R 勧告 M. 1850 は、IMT 衛星コンポーネント IF (Satellite Radio Interface: SRI) を規定する勧告である。本改訂案は、ETSI において SRI-A、SRI-C 及び SRI-G の調和をとって SRI が整理されたため、それらを勧告 M. 1850 へ反映させることを目的としている。	WP4B / N/A	改訂	2013.1 CACE/599
BO. 1898-1	21.4-22 GHz 帯における固定及び／又は移動業務の局による発射からの第一地域及び第三地域における放送衛星業務の受信地球局の保護に必要な pdf 値	WRC-12 前 (2012 年 1 月) に承認された、ITU-R 勧告 BO.1898 は、21.4-22GHz 帯の放送衛星を地上業務から保護するための許容 pdf 値を規定するもので、本改訂案は、WRC-12 での結果 (この許容 pdf 値を調整しきい値 (threshold level) ではなく制限値 (hard limit) として使うことが決められ、無線通信規則 (RR) 第 5 条が改正された) を反映させることを目的としている。	WP4A / N/A	改訂	2013.1 CAC/599
S. 732-1	地球局のアンテナのサイドローブピークの統計処理方法	ITU-R 勧告 S. 732 は、地球局のアンテナのサイドローブピークの統計処理方法を定めるものである。本改訂案は、本勧告の利用と、サイドローブピークが勧告値を数%超える場合のサイドローブの測定データの処理方法を定めることを目的としている。	WP4A / N/A	改訂	2013.1 CACE/599
S. 2049-0	4/6 GHz 帯及び 11-12/13/14 GHz 帯で運用する固定衛星業務 (FSS) の随時利用における地球局送信のアクセス手順	本勧告案は、4/6 GHz 帯及び 11-12/13/14 GHz 帯における FSS の帯域において、GSO 衛星宇宙局に向けて送信する、FSS の随時利用における地球局のアクセス手順を規定するもの。	WP4B / N/A	新規	2014.1.13 CACE/657
M. 2046-0	399.9-400.05 MHz 帯で運用する NGSO の移動衛	本勧告案は、399.9-400.05 MHz 帯で運用する NGSO MSS の特性及び保護基	WP4C / N/A	新規	2014.1 CACE/6

	星業務 (MSS) の特性及び保護基準	準を定めたもの。			58
M. 2047-0	IMT-Advanced の衛星系無線インターフェースの特性	本勧告案は、IMT-Advanced 衛星系無線インターフェースの特性を定めたもの。本勧告案には、世界的両立性や国際ローミング及び高速データサービスアクセスの特性が規定されている。	WP4B / N/A	新規	2014. 1 CACE/6 58
SF. 674-3	第二地域における静止軌道 (GSO) 上の固定衛星業務 (FSS) ネットワークが決議 77 (WRC-2000) で規定される電力束密度 (pfd 値) を超える場合の 11. 7-12. 2 GHz 帯における固定業務 (FS) に与える影響評価	勧告 ITU-R SF. 674-2 は、第 2 地域における GSO の FSS ネットワークが決議 77 (WRC-2000) で規定される pfd 値を超える場合の 11. 7-12. 2GHz 帯における FS に与える影響評価をまとめたもの。 本改訂案は、scope の追加や過去の WRC の結果を踏まえた、古いテキストのアップデートを目的としている。	WP4A/5 C/N/A	改訂	2014. 1 CACE/6 58
M. 1901-1	1164-1215 MHz 、 1215-1300 MHz 、 1559-1610 MHz 、 5000-5010 MHz 及び 5010-5030 MHz 帯で運用する無線航行業務 (RNSS) 関連の勧告の体系及びガイドライン	勧告 ITU-R M. 1901 は、1164-1215 MHz、1215-1300 MHz、1559-1610 MHz、5000-5010 MHz 及び 5010-5030 MHz 帯で運用する RNSS 関連の勧告の体系及びガイドラインをまとめたもの。 本改訂案は、本勧告の成立後に、勧告 ITU-R M. 2030 及び M. 2031 の 2 件の RNSS 関連勧告が成立したため、それに伴う変更を行うことを目的としている。	WP4C / 288/4、 217-2/ 4	改訂	2014. 1 CACE/6 58
S. 1503-2	RR 第 22 条における制限値を持つ NGSO の FSS システムのネットワークにより生じる電力レベル及びこれらのレベルの適合性を計算するソフトウェアツールを開発する際に使用される機能	勧告 ITU-R S. 1503-1 は、RR 第 22 条における制限値の対象となる NGSO の FSS システムのネットワークにより生じる電力レベル及びこれらのレベルの適合性を計算するソフトウェアツールを開発する際に使用される機能を規定したもの。 本改訂案は、赤道面軌道や長楕円軌道を含む非静止衛星システムの様々な軌道の解析をするための中心となるアルゴリズムの充実や最悪ケースにおける幾何アルゴリズムの補強等を行うことを目的としている。	WP4A / N/A	改訂	2014. 1 CACE/6 58
BO. 1443-3	RR AP30 の周波数帯における NGSO 衛星を含む衛星の干渉評価で使用する BSS 地球局の参照アンテナパターン	勧告 ITU-R BO. 1443-2 は、NGSO 衛星を含む干渉評価で用いられる BSS 地球局のアンテナパターンを規定するもの。 本改訂案は、RR 第 22 条で規定されている epfd 値を計算するための主要なアルゴリズムが規定されている勧告 S. 1503 に基づくソフトウェアの導入において、勧告 BO. 1443-2 のエディトリアルなエラーが見つかったため、これらのエラーを修正することを目的としている。	WP4A / N/A	改訂	2014. 7 CACE/6 82

BO. 2063-0	12 GHz 帯 BSS 地球局の開口径 55-75 cm のアンテナのアンテナパターン	本勧告案は、衛星放送業務 (BSS) の地球局のアンテナパターンをまとめたものであり、ブルガリアにより提案され、WP4A で検討が進められてきたものである。	WP4A / N/A	新規	2014. 10 CACE/691
M. 1787-2	1164-1215 MHz 帯、1215-1300 MHz 帯及び 1559-1610 MHz 帯で運用する RNSS (宇宙から地球及び地球から宇宙) のシステム及びネットワーク特性並びに送信宇宙局の技術特性	本勧告は、1164-1215 MHz 帯、1215-1300 MHz 帯及び 1559-1610 MHz 帯で運用する無線測位衛星業務 (RNSS) (宇宙から地球及び地球から宇宙) のシステム特性を規定する勧告である。改訂の内容は、QZSS の体制を全衛星 3 機のコンスタレーションから全衛星 7 機のコンスタレーションへ更新するものであり、日本により WP4C へ改訂の提案が入力されたものである。	WP4C / 288/4、217-2/4	改訂	2014. 10 CACE/691
M. 1850-2	IMT-2000 の衛星コンポーネントにおける無線インターフェースの詳細な特性	本勧告は、IMT-2000 衛星系の無線インターフェースを規定したものである。改訂の内容は、無線インターフェース H (GMR-1) の Release 3 の最新版に関する情報を追記するものである。	WP4B / N/A	改訂	2014. 10 CACE/691
S. 2062-0	固定衛星業務における随時利用の地球局送信で用いるデジタル変調キャリア識別システム	本新勧告案は、随時利用の FSS 地球局送信に関し、送信キャリアに Carrier-ID を付与し、干渉源を早期特定することを目的として、我が国主導により、WP 4B において検討が進められてきたもの。	WP4B / N/A	新規	2014. 10 CACE/692
M. 1478-3	406-406.1 MHz 帯で運用する Cospas-Sarsat システムの保護基準	本改訂勧告案は、406-406.1 MHz 帯で運用する Cospas-Sarsat システムの保護基準を規定したものであり、WRC-15 議題 9.1 課題 9.1.1 (406-406.1 MHz 帯 MSS の保護の検討) に関して、改訂作業が進められてきたもの。改訂の主な内容は、Galileo 衛星に搭載された SAR (搜索・救助) レピーターの保護基準を記述した Annex 10 及び Cospas-Sarsat システムの全ての装置の全体的な技術特性をまとめた Annex 11 を追加することである。	WP4C / N/A	改訂	2014. 10 CACE/692
S. 352-4	固定業務によるアナログ送信機システムのための仮想的基準回線	世界中の衛星ネットワークで利用される FDM/FM キャリアの減少により、関連する勧告を削除することとしたもの。	WP4B / N/A	削除	2014. 10 CACE/692
S. 353-8	FSS の FDM 方式電話通信のための仮想的基準回線における許容雑音電力	世界中の衛星ネットワークで利用される FDM/FM キャリアの減少により、関連する勧告を削除することとしたもの。	WP4B / N/A	削除	2014. 10 CACE/692
S. 464-2	FSS の FDM 方式電話通信用の周波数変調システムのためのプリエンファシス特性	世界中の衛星ネットワークで利用される FDM/FM キャリアの減少により、関連する勧告を削除することとしたもの。	WP4B / N/A	削除	2014. 10 CACE/692
S. 481-2	FSS システムにおける	世界中の衛星ネットワークで利用さ	WP4B /	削除	2014. 1

	FDM 方式を用いた電話通信の実際のトラフィックのノイズの測定	れる FDM/FM キャリアの減少により、関連する勧告を削除することとしたもの。	N/A		0 CACE/6 92
S. 482-2	ユニフォームスペクトル信号による FSS の FDM 方式の電話通信を用いたシステムのパフォーマンス測定	世界中の衛星ネットワークで利用される FDM/FM キャリアの減少により、関連する勧告を削除することとしたもの。	WP4B / N/A	削除	2014. 1 0 CACE/6 92
M. [MSS-R DSS-SHAR E]	pdf 調整閾値を用いた 2483. 5-2500 MHz 帯の RDSS 及び MSS と FS の調整	本勧告は 2483. 5-2500 MHz 帯 RDSS や移動衛星業務 (MSS) が pdf 調整閾値を超過した場合に、その超過が発生した地表面の領土の主官庁との周波数調整を支援するものである。	WP4C / N/A	新規	2015. 9 . 10 ま で郵便 投票中 (採 択)
M. 2014-1	IMT-2000 衛星端末の世界的流通	本改訂は最新の技術動向を反映するため、IMT-2000 衛星端末に加え、IMT-Advanced 衛星端末の記述を追加するものである。	WP4B / N/A	新規 改訂	2012. 3 CACE/5 67 2015. 9 CACE/7 52
M. 1831-1	RNSS システム間干渉評価のための調整方法	本改訂は、①ITU-R 勧告フォーマットに合わせるための編集上の修正、②Annex1 のテキスト、図、数式の明確化、③短時間の pseudo random noise (PRN) code を含む RNSS の干渉について追記するものである。	WP4C / N/A	改訂	2015. 9 CACE/7 52
M. 2031-1	5010-5030MHz 帯の RNSS (宇宙から地球) 受信地球局の特性及び保護基準並びに送信宇宙局の特性	本勧告案は、5010-5030MHz 帯で運用する無線航行衛星業務の受信地球局の特性及び保護基準並びに送信宇宙局の特性を定めている。本情報により、無線航行衛星業務以外の電波源から 5010-5030MHz 帯におけるシステム及び網に与える無線周波数干渉の分析を行うことを目的としている。本改訂は ITU-R 勧告フォーマットに合わせるエディトリアルな修正及び QZSS に関する情報を最新のものに更新している。	WP4C / 288/4、 217-2/ 4	新規 改訂	2012. 1 2 CACE/5 98 2015. 9 CACE/7 52
M. 1906-1	5000-5010MHz 帯の RNSS (地球から宇宙) 受信宇宙局の特性及び保護基準並びに送信地球局の特性	本改訂は ITU-R 勧告フォーマットに合わせるエディトリアルな修正及び QZSS に関する情報を最新のものに更新している。	WP4C / 288/4、 217-2/ 4	改訂	2015. 9 CACE/7 52
S. 1717-1	地球局アンテナパターンの電子データファイルフォーマット	本改訂は勧告の範囲を BSS 地球局アンテナに拡大するもの (現状 FSS アンテナのみとしている)。Azimuth 及び elevation plane のみのアンテナ測定データしかない場合について Annex を追加し、記載している。	WP4A / N/A	改訂	2015. 9 CACE/7 52
S. 1587-3	FSS に分配された 5 925-6 425 MHz 及び 14-14. 5 GHz 帯にお	BR によって管理されるデータバンクに ESV 特性を提出するための改訂である。	WP4A / N/A	改訂	2015. 9 CACE/7 52

	る FSS 衛星と通信する 船上地球局の技術特性				
--	-----------------------------	--	--	--	--

第5章 RAへの対処（SG5関連）

1 研究対象

SG5は、「移動業務、固定業務、無線測位業務、アマチュア業務及びアマチュア衛星業務」を研究対象としている。我が国からは、議長として、橋本明氏（NTT ドコモ）を選出している。

2 RA-15に提出される勧告案

RA-15に提出されるSG5関連の勧告案及びその評価一覧を表5-1に示す。提出される勧告案5件については、我が国として、静観又は支持の対処を行う。

3 RA-15に提出される決議案

RA-15に提出されるSG5の決議案の評価一覧を表5-2に示す。提出される4件の決議案については、我が国として、支持の対処を行う。

主な決議案の概略は、以下のとおりである。

(1) 決議56[改訂] IMT (International Mobile Telecommunications) の名称

【概要】

「IMT-2000」(3G)、「IMT-Advanced」(4G)等のIMTの名称を規定する決議について、5Gの呼称として「IMT-2020」を盛り込むための改訂を行う。

(2) 新決議[IMT. PRINCIPLES] 2020年以降のIMTの将来開発プロセスに関する原則

【概要】

2020年以降のIMT(5Gとそれ以降)の無線インターフェース勧告等の将来開発プロセスに関する原則(開発作業工程、進め方等に関するもの)について規定した新決議案。

4 課題の見直し

SG5における次会期の研究課題及びその評価一覧を表5-3に示す。今会期は、当初31件の研究課題があり、会期中に、6件の新規追加、6件の改訂及び8件の削除を行った。(回章によりRA-15までに完了予定。)RA-15において承認が必要とされる改訂及び削除はない。次会期の研究課題は、我が国として、引き続き研究を支持する。

主な研究課題の概略は、以下のとおりである。

(1) ITS (研究課題 205-5/5)

【概要】

ITSの構成要素、機能、周波数要件等について研究するもの。

(2) 地上系IMTのさらなる開発 (研究課題 229-3/5)

【概要】

地上系IMTについて、その高度化に伴う技術要件、アプリケーション等の研究を行うもの。

(3) 航空及び海上システムの保護基準 (研究課題 235-0/5)

【概要】

勧告がまだ制定されていない航空移動、海上移動及び無線測位のシステムの技術及び運用特性並びに必要な保護基準について、研究するもの。

(4) 固定業務及びその他の業務のシステム間における周波数共用と互換性（研究課題 252-0/5）

【概要】

固定業務と同一帯域で動作する共用の業務の技術面・運用面の干渉の許容値、固定業務と同一帯域で動作する共用の業務以外のアプリケーションから固定業務への干渉の許容値及び固定業務の隣接帯域で動作するシステムからの不要放射の許容値を検討するもの。

5 参考事項

SG5は、2012年11月、2013年12月、2014年11月、2015年7月に開催され、68件の新規及び改訂勧告案が郵便投票等に付され、承認されている。今会期中に承認された勧告リストを表5-4に示す。

重要課題の審議状況、勧告化の動向を以下に示す。

(1) 高度道路交通システム（ITS）

日本が中心となり、Advanced ITSとしてETSI、IEEE、ARIB等の規格を含め、ITS用の車車間及び路車間通信の特定の無線インターフェース標準を示した新勧告案M. [V2X]がSG5へ上程され、PSAA手続に付されることとなった。また、レポート「Advanced 高度道路交通システム無線通信」(M. 2228)が改訂され、2015年7月にSG5で承認された。

(2) VHF データ交換システム（VDES）について

WRC-15 議題 1.16 において、VHF 帯を用いた海上通信の高度化等に係る検討が進められ、VDES (VHF Data Exchange System) の技術的事項を定めた勧告 M. [VDES] が WP5B において作成された。2015年7月に開催されたSG5会合においてロシアが勧告化に反対したため、RA-15に提出されている。

(3) 共用研究で用いられるアンテナの標準輻射パターン（研究課題 242）

固定業務で用いられるアンテナの標準輻射パターンに関する勧告 F. 1336 について、WP5C において、我が国からの提案に基づき、移動通信業務用のアンテナにも適用範囲を拡大すること、適応可能周波数の下限を 1GHz から 400MHz へ拡張すること、セクタアンテナ参照パターンとして新规定式を追加すること等の改訂が行われた。

本勧告の改訂に伴い、研究課題 242 についても移動業務を対象に加える改訂提案が行われた。

(4) IMT について

2014年11月に、新レポート「地上 IMT システムの将来技術動向」(M. 2320)がSG5で承認された。2012年7月から議論が行われてきた5Gの将来ビジョンに関する新勧告案 M. [IMT. VISION] について、SG5で採択され、現在郵便投票による承認手続が行われている。

表5-1 RA-15に提出される勧告案の評価

勧告番号	勧告名	概要	関連WP/課題番号	新規改訂削除	対応	備考
M. 1036-4	無線通信規則 (RR) における IMT に特定された周波数帯の IMT 地上コンポーネント導入のための周波数配置	IMT 地上系の周波数アレンジメントの 450-470MHz, 694-960MHz, 1710-2200MHz の各帯域に新たな配置を含める修正提案。	WP5D	改訂	静観	
M. [BSMS700]	第1地域の 694MHz 以下の既存サービス保護に必要な、694-790MHz 帯 IMT 移動局の帯域外発射制限	第1地域での 694MHz 以下における既存サービス保護のための 694-790MHz 帯で運用する IMT 移動局からの OOB 制限について主管庁に対して指針を示すもの。	WP5D	新規	静観	
M. [AMS-CHAR-15GHZ]	14.5-15.35 GHz の周波数帯における航空移動業務システムのための技術特性及び保護基準	15GHz 帯を利用する AMS の技術特性及び保護基準を規定する勧告案であり、2012 年 11 月の WP5B 会合における米国からの提案により検討が開始された。直近の WP5B 会合においては、本勧告案の最終化に向けて検討を行った。米国、カナダは、過去 2 回の会合において寄与文書が入力されていないことを踏まえて本勧告案は安定しているとして、合意すべきとの意見であったが、ロシアより、本勧告案の特性は既存の固定・移動業務等へ影響を与える懸念があり、本勧告案の更なる検討が必要であるとの意見が出され、SG5 会合で RA-15 に送られることとなった。	WP5B	新規	支持	
M. [VDES]	VHF 海上移動帯における VHF データ通信システムの技術特性	VHF 帯の海上通信の高度化等に向けた検討が議題 1.16 において進められている。直近の WP5B 会合では、VDES (VHF Data Exchange System) の技術特性を定める新勧告案の最終化に向けた検討等を行った。ロシアから WRC-15 における分配が決まる前に周波数の利用を勧告で定めることは不	WP5B	新規	支持	

		適切であるとの意見があり、日本、米国、ドイツ、フランスより、本勧告は技術的検討に関するものであり周波数の利用について定めるものではないとの意見が出されたが合意されず RA-15 に送られることとなった。				
M. 541-9	海上移動業務におけるデジタル選択呼出装置を使用するための運用手順	海上移動業務におけるデジタル選択呼出装置 (DSC) を使用するための運用手順について記載されており、本改訂では、MOB (man overboard: 海中転落者) デバイスに関する運用手順の追記等を行っている。本勧告は RR で参照により引用されている勧告であり、WRC-15 に間に合わせるために、採択は郵便で行い、承認については RA-15 で行うこととなった。	WP5B	改訂	支持	

表 5-2 RA-15 に提出される決議案

決議番号	決議名	概要	新規改訂削除	対応	備考
決議 [IMT. PRINCIPLES]	2020 年以降の IMT の将来開発プロセスに関する原則	2020 年以降の IMT (5G とそれ以降) の無線インターフェース勧告等の将来開発プロセスに関する原則 (開発作業工程、進め方等に関するもの) について規定した新決議案。	新規	支持	WP5D SG で採択
決議 50-2	継続的 IMT の開発における無線通信部門の役割	IMT についての ITU-R 活動工程を関連する研究委員会において整備し、効果的に作業が進捗するように規定した決議について、所要の現行化を行うもの。	改訂	支持	WP5D SG で採択
決議 56-1	IMT (International Mobile Telecommunications) の名称	「IMT-2000」(3G)、 「IMT-Advanced」(4G) 等の IMT の名称を規定する決議に、5G の呼称として	改訂	支持	WP5D SG で採択

		「IMT-2020」を盛り込むための改訂を行うもの。			
決議 17-4	IMT (IMT-2000 及び IMT-Advanced) の既存網との統合	IMT 方式の既存ネットワークへの統合については多くの国で実現されており、本決議の目的は達せられたと考えられるので削除を行うもの。	削除	支持	WP5D SG で採択

表 5 - 3 次会期の研究課題及び評価

研究課題番号	研究課題名	概要及び評価	新規 継続 改訂 削除	備考
'1-5/5	陸上移動業務に必要な干渉保護比及び最小電界強度	[概要] 移動業務で要求される干渉保護比と最小の電界強度について研究を行うもの。 [評価] 特に問題なし。	改訂	WP5A 2015.10.1 まで 郵便投票中
'7-7/5	30 から 6000MHz の間の陸上移動業務の機器の特性	[概要] 30-6000MHz 帯の陸上移動業務の技術特性について研究を行うもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP5A
'37-6/5	特殊利用のためのデジタル陸上移動システム	[概要] 基地局性能、カバレレッジエリア、機器の複雑さ等を考慮し、陸上移動業務のシステムについて、周波数効率や最適な技術特性を研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP5A
'48-6/5	アマチュア業務及びアマチュア衛星業務における技術及び周波数の利用	[概要] アマチュア業務及びアマチュア衛星業務について研究を行うもの。 [評価] 特に問題なし。	改訂	WP5A 2015.10.1 まで 郵便投票中

‘62-2/5	航空移動業務及び航空無線航行業務への混信	<p>[概要] IEC/CISPRの混信測定方法に関して、航空関係業務の保護規定の策定に有用な基準があるか、また、他の無線業務、情報機器がISMから受ける混信累積効果の測定方法について、研究するもの。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	継続	WP5B
77-7/5	IMT開発及び実用化における開発途上国の要求の検討	<p>[概要] 通信が未発達の地域において、有効な通信手段としてIMTをいかに導入するかについて研究。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	継続	WP5D
101-4/5	陸上移動業務におけるサービス品質の要求条件	<p>[概要] 陸上移動アプリケーションに適した符号化方式に関する研究。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	継続	WP5A
110-3/5	共用検討に用いられるpoint-to-point方式の固定無線システムアンテナの標準輻射パターン	<p>[概要] 共用検討に用いられる固定無線(point-to-pointシステム)アンテナの輻射パターンに関する研究。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	継続	WP5C
205-5/5	高度道路交通システム(ITS)	<p>[概要] ITSの構成要素、機能、周波数要件等について研究するもの。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	継続	WP5A
209-4/5	災害通信の支援における移動業務、アマチュア業務及びアマチュア衛星業務の利用	<p>[概要] 災害時通信における移動、アマチュア及びアマチュア衛星業務の貢献について研究するもの。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	改訂	WP5A 2015.10.1まで 郵便投票中

212-4/5	無線 LAN を含んだノマディック無線アクセスシステム	<p>[概要] 無線 LAN を含むノマディックワイヤレスアクセスシステム (NWA) について、技術及び運用要件等について研究するもの。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	継続	WP5A
215-4/5	固定および/もしくは陸上移動業務における固定無線アクセスシステムの周波数帯域、技術特性及び運用要件	<p>[概要] FWA システムに最適な周波数帯、技術特性及び運用要件等について研究を行うもの。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	継続	WP5A
229-3/5	地上系 IMT のさらなる開発	<p>[概要] 地上系 IMT について、その高度化に伴う技術要件、アプリケーション等の研究を行うもの。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	改訂	WP5D 2015. 10. 1 まで 郵便投票中
235-0/5	航空及び海上システムの保護基準	<p>[概要] 勧告がまだ制定されていない航空移動、海上移動及び無線測位のシステムの技術及び運用特性並びに必要な保護基準について、研究するもの。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	継続	WP5B
238-2/5	移動広帯域無線アクセスシステム	<p>[概要] 移動業務の広帯域無線アクセスシステムを研究するものであり、研究すべき項目として、存在する無線インターフェース標準規格、技術・運用条件等がある。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	継続	WP5A
241-2/5	移動業務におけるコグニティブ無線システム	<p>[概要] コグニティブ無線の技術的特性について研究を行うもの。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	改訂	WP5A/D 2015. 10. 1 まで 郵便投票中

242-1/5	共用研究のために用いられる P-MP (Point-to-Multipoint) 固定無線システムでの無指向性及び扇形アンテナの標準輻射パターン	[概要] P-MP 無線方式用オムニ・ディレクショナル及びセクトラルタイプのアンテナに対し共用検討用にどの参照パターンを定義していくのかを検討する。 [評価] 特に問題なし。	改訂	WP5C/A/D 2015.10.1 まで 郵便投票中
246-0/5	適応型 HF システムのための技術特性及びチャネル要求	[概要] スペクトラムの効率的利用及び干渉の最小化を考慮した適応型 HF システム導入のための適切な技術特性及びチャネル要求について研究する。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP5C
247-1/5	固定無線システムの周波数配置	[概要] 固定通信における好ましい周波数配置やブロック単位での周波数配置を検討するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP5C
248-0/5	災害の緩和及び救援のために用いられる固定無線システムの技術上及び運用上の特性	[概要] 災害低減・救済に使用される固定通信における好ましい技術的・運用的な特性等を研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP5C
250-1/5	陸上移動業務における、広域エリアを対象としたセンサネットワーク及び M2M 通信に適用する移動無線アクセスシステム	[概要] 広いエリアを対象としたセンサネットワークに適用する移動通信システムに関して、技術面・運用面の要求条件および技術的特性などを策定するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP5A
252-0/5	固定業務及びその他の業務のシステム間における周波数共用と互換性	[概要] 固定業務とその他の業務間における技術面・運用面の共用条件を策定するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP5C

253-0/5	固定業務の利用と将来の傾向	<p>[概要] 今後10年間またはそれ以降における固定通信の適用先や技術開発の将来動向についてまとめるもの。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	継続	WP5C
254-0/5	補聴システム援助のための短距離公衆無線アクセスシステムの運用	<p>[概要] 補聴システム補助のための狭域無線公衆アクセスシステムの適切な技術的及び運用的特性等を研究するもの。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	継続	WP5A 今会期中に新規追加
255-0/5	パケットベースシステムを含む固定無線システムにおける性能、稼働率目標及び要件	<p>[概要] パケットベースシステムを含めたFWSの性能、稼働率目標、物理データ層の要件に関する研究課題である。研究課題の目標を2019年までとしている。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	継続	WP5C 今会期中に新規追加
[THZ LAND MOBILE CHAR]/5	275-1 000 GHz 周波数帯の陸上移動業務における技術及び運用特性	<p>[概要] 275-1 000 GHz 周波数帯の陸上移動業務における技術及び運用特性について研究するもの。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	新規	WP5A 2015.10.1まで郵便投票中
XXX/5	大気圏より上空における航空機の技術面と運用面	<p>[概要] 航空機の航行を支援するために高度100km以上において運用されるスペースプレーンについて、システムの要件や、どの無線業務とすべきか等について研究を行うもの。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	新規	WP5B 2015.10.1まで郵便投票中
[ABOVE 275 GHz FIXED CHAR]/5	275-1000GHz帯における固定業務の技術上及び運用上の特性	<p>[概要] 広帯域を用いた高速かつ大容量通信の固定業務用アプリケーションの実現に向け、275-1000GHzを用いた固定業務の研究を行うものであり、日本より提案を行ったもの。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	新規	WP5C 2015.10.1まで郵便投票中

[HF ENVIRONMENT]/5	HF 帯環境改善のための上空波通信局の技術・運用原理	<p>[概要] HF 帯無線通信の管理向上およびHF 帯のバックグラウンドノイズの軽減のために関係機関が導入できる技術・運用原理について検討を行うもの。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	新規	WP5C 2015.10.1 まで 郵便投票中
202-3/5	一次レーダシステムの不要発射	<p>[概要] レーダーからのスプリアス発射レベル、測定技術、軽減方策及びその技術的、経済的影響、軽減方策による達成されるレベルについて、研究するもの。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	削除	WP5B 2015.10.1 まで 郵便投票中
225-0/5	無免許の無線局によるHF 帯での航空及び海上移動業務への混信	<p>[概要] 航空及び海上移動業務で使用される HF 信号の混信低減技術について、研究するもの。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	削除	WP5B 2015.10.1 まで 郵便投票中
231-0/5	3GHz 以上の帯域での広帯域航空テレメトリの運用	<p>[概要] 3GHz 以上の帯域の広帯域航空テレメトリの運用について、研究するもの。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	削除	WP5B 2015.10.1 まで 郵便投票中
240-0/5	3 から 50 MHz の周波数範囲で運用する短波表面波レーダーシステムの技術及び運用特性とスペクトラム要件	<p>[概要] 3-50MHz 帯で動作する短波レーダーが海洋の表面流観測等に用いられるレーダー（海洋レーダー）として、研究面、実用面での利用が増えていることから、その技術・運用特性について、研究するもの。</p> <p>[評価] 特に問題なし。</p>	削除	WP5B 2015.10.1 まで 郵便投票中

249-0/5	無線航空機内通信 (WAIC) の技術特性及び運用要件	<p>[概要]</p> <p>航空機内に閉じた中での情報伝達に利用される無線システムである WAIC に関して、飛行の安全性や飛行無線技術等の利益のため、周波数の効率的な使用を考慮に入れた保護評価基準を研究するもの。</p> <p>[評価]</p> <p>特に問題なし。</p>	削除	WP5B 2015.10.1 まで 郵便投票中
251-0/5	IMT 基地局用受動・能動アンテナシステム	<p>[概要]</p> <p>IMT 基地局用受動・能動アンテナの研究を行うもの。研究完了 (Report ITU-R M. 2334 承認) により削除。</p> <p>[評価]</p> <p>特に問題なし。</p>	削除	WP5D 2015.10.1 まで 郵便投票中

表 5-4 今会期中に承認された勧告

勧告番号	勧告名	勧告の内容及びコメント	関連WP / 課題番号	新規改訂 削除	備考
M. 493-13	海上移動業務で使用する DSC システム	<p>[勧告内容]</p> <p>本勧告は、DSC 機器の単純化、海上移動業務での DSC の使用、ユーザインターフェース等について規定しているもの。定義の改訂、削除、新定義の追記等を行うために更新される。</p>	WP5B	改訂	CACE/741 PSAA 2015.9.30 まで郵便投票中
M. [V2X]	ITS アプリケーションのための車車間、路車間通信の無線インターフェース標準	<p>[勧告内容]</p> <p>ITS 用の車車間及び路車間通信の特定の無線インターフェース標準を明らかにする。本勧告中の技術及び運用上の特性は、ITS 及び MS アプリケーションに既に使用されている現行の既存の周波数帯に基づいている。</p>	WP5A	新規	CACE/741 PSAA 2015.9.30 まで郵便投票中

M. [WAIC_CONDITIONS]	4200-4400MHz 帯での航空移動 (R) 業務での WAIC システムの使用に関する技術的条件	[勧告内容] 4200-4400MHz 帯における航空機内無線通信 (WAIC) システムに限定した航空移動 (R) 業務の使用に関する技術的な条件を定めた勧告。同帯域では、既存業務として航空無線航行業務が運用されており、電波高度計の保護のために eirp 密度を勧告している。	WP5B	新規	CACE/741 PSAA 2015. 9. 30 まで郵便投票中
F. [FS DEPLOY]	固定業務の Point-to-point システムの配置シナリオ	[勧告内容] 固定業務の Point-to-point システム局の配置シナリオについての新勧告であり、アンテナ仰角、回線長、アンテナ高に関する統計情報を提供するもの。	WP5C Q252/5	新規	CACE/741 PSAA 2015. 9. 30 まで郵便投票中
M. 1544-0	アマチュア無線家の最低資格	[勧告内容] 運用技術知識の最低レベルの勧告を行うもの。	WP5A	改訂	CACE/741 PSAA 2015. 9. 30 まで郵便投票中
F. 1247-3	2025-2110MHz 及び 2200-2290MHz 帯における宇宙探査、宇宙通信、地球探査業務との共用検討を促進するための固定業務の技術・運用上の特性	[勧告内容] 2025-2110MHz 及び 2200-2290MHz 帯における宇宙探査業務との共用を促進するための固定業務の技術・運用上の特性について記載したものであり、放射を制限するため GSO 衛星の軌道位置を提供するものであり、今会期中に 2 度の改訂が行われている。改訂内容は保護対象となる軌道位置の追加ならびに既存固定業務局の運用の継続性を保証するもの及び 2200-2290MHz 帯における軌道位置の共用を促進するため、勧告 ITU-R SA. 1275 の改訂に従い、新たな軌道位置の追加を提案するもの。	WP5C Q118/7 Q252/5	改訂	CACE/741 PSAA 2015. 9. 30 まで郵便投票中 CACE/606 PSAA
F. 1509-2	25. 25-27. 5GHz 帯における P-MP 固定業務と衛星間サービスの間の共用を促進するための技術・運用上の要件	[勧告内容] 25. 25-27. 5GHz 帯における軌道位置の共用を促進するため、送信ハブの最大 EIRP 密度や固定衛星の軌道等を定めたものであり、今会期中に 2 度の改訂が行われている。改訂内容は、保護対象となる軌道位置の追加および既存固定業務局の運用の継続性を保証する改訂及び勧告 ITU-R SA. 1276 の改訂に従い、新たな軌道位置の追加を提案するもの。	WP5C Q118/7 Q252/5	改訂	CACE/741 PSAA 2015. 9. 30 まで郵便投票中 CACE/606 PSAA

F. 1249-3	25. 25-27. 5GHz 帯における固定業務における PtoP システムと衛星間サービスの間の共用を促進するための技術・運用上の要件	[勧告内容] 25. 25-27. 5GHz 帯における PtoP 固定システムと衛星間サービスの間の共用を促進するため、固定システムから衛星軌道への最大 EIRP を規定するものであり、今会期中に 2 度の改訂が行われている。改訂内容は保護対象となる軌道位置の追加および既存固定業務局の運用の継続性を保証するもの及び勧告 ITU-R SA. 1276 の改訂に従い、新たな軌道位置の追加、appendix に記載のプログラムを修正するもの。	WP5C Q118/7 Q252/5	改訂	CACE/741 PSAA 2015. 9. 30 まで郵便投票中 CACE/606 PSAA
F. 758-5	固定業務におけるデジタル固定無線システム、その他の業務及びその他の干渉源との共用又は実現可能性についての基準の策定に関するパラメータ及び検討事項	[勧告内容] 固定デジタルシステムの共用の基準について定めた勧告であり、改訂内容は 40. 5-43. 5GHz, 59-64GHz, 64-66GHz 及び 71-76/81-86GHz 帯における固定業務の新たなシステムパラメータの追加及び一部エディトリアルな修正を提案している。	WP5C	改訂	CACE/741 PSAA 2015. 9. 30 まで郵便投票中
F. 1777-0	共用研究用に使われる固定サービスの屋外 TV 放送、ENG 及び EFP についてのデジタルシステムの特性	[勧告内容] 放送番組作成時の中継等に用いる固定無線システム (TVOB、ENG 及び EFP) について、他のシステムとの電波干渉を検討する際に用いるべきシステム特性についてまとめた勧告であり、改訂内容は、アナログ回線に関する記述を削除し、デジタルシステムに勧告の範囲を限る修正を行うもの。	WP5C Q225/9	改訂	CACE/741 PSAA 2015. 9. 30 まで郵便投票中
M. 1849-0	地上気象レーダーの技術及び運用面	[勧告内容] 本勧告は、地上気象レーダーの技術及び運用特性をまとめた勧告であり、本改訂は、2700-2900MHz 帯におけるレーダーの技術パラメータをまとめた表について、米国の提案により新たな気象レーダーについての追記を行うものである。	WP5B	改訂	CACE/741 PSAA 2015. 9. 30 まで郵便投票中
M. [IMT. VISION]	IMT ビジョン - 「2020 年以降の IMT の将来開発についての枠組及び目的」	[勧告内容] 想定する利用シナリオに関連する幅広い機能を含む、2020 年以降の IMT の将来開発の枠組みの詳細を述べるもの。	WP5D	新規	CACE/739 2015. 9. 29 まで郵便投票中

M. 2012-1	IMT-Advanced 地上無線 インターフェースの詳細 仕様	[勧告内容] IMT-Advanced（第4世代移動通信システム）の詳細無線インターフェースを定める勧告。LTEを基本技術とするLTE-Advanced及びWiMAXを基本技術とするWirelessMAN-Advancedの2つの無線方式が採択されている。IMT-Advanced地上コンポーネントの特定技術を最新のものに更新するため、LTE-Advanced無線インターフェース技術の拡張機能の追記等を行うもの。	WP5D	改訂	CACE/739 2015.9.29まで郵便投票中 CACE/667
M. 1174-3	450-470 MHz 帯を用いる 船上通信設備の技術基準	[勧告内容] 本勧告は、450-470 MHz 帯を用いる船上通信設備の技術基準に係る勧告である。今回の改訂は、アナログ変調方式に加えデジタル変調方式に係る記述の追加、新たな周波数アレンジメントやチャンネル番号、混雑回避のための干渉軽減技術、アナログ技術の保持の条項について記載されている。	WP5B	改訂	CACE/724
M. 690-3	121.5MHz と 243MHz のキャリア周波数でのEPIRBの制御の技術基準	[勧告内容] 本勧告は、EPIRBの制御の技術基準に関する勧告であり、今回の改訂では、技術的に曖昧となっていた部分について、明確化を行うエディトリアルな改訂である。	WP5B	改訂	CACE/724
M. 585-7	海上移動業務における識別番号の使用と割当て	[勧告内容] 本勧告は、海上移動業務における識別番号（MMSI）の使用と割当てに関する勧告であり、今回の改訂では、フォーマット00MID4XXXを用いたAIS中継局に関して、新しい項目を設ける点、末尾の0に関連するテキストの明確化、AIS-SARTに関し' transponder' を' transmitter' とする記述へ変更された。	WP5B	改訂	CACE/724
M. 2068-0	14.5-15.35 GHz 帯周波数における移動業務のシステム運用のための特性及び保護基準	[勧告内容] 本勧告は、14.5-15.35 GHz 周波数帯のMSで運用するシステムのための特性及び保護基準を特定するもの。これらの技術運用特性は、MSとその他の業務システム間の両立性分析に利用されることとなる。	WP5A	新規	CACE/713 PSAA

M. 2067-0	航空機内無線通信のための技術特性および保護基準	[勧告内容] 本勧告は、WAIC システムの技術・運用特性及び保護基準を提供するものである。これらの特性は WAIC システムと他業務との共用評価に用いることが想定されている。	WP5B	新規	CACE/713 PSAA
M. 1824-1	共用研究における MS のスタジオ外放送 TV、電子ニュース取材、スタジオ外制作のシステムの特性	[勧告内容] RA-12、WRC-12 結果を踏まえた更新と、移動業務とその他業務間の ENG アプリケーションに利用するモバイルブロードバンドネットワーク間の共用研究への使用を想定した、技術運用特性の情報を追記するもの。	WP5A	改訂	CACE/713 PSAA
M. 1076-1	聴覚障害者のための無線通信システム	[勧告内容] 聴覚障害者のための利用の現状、技術特性、無線通信の実装 についての情報を更新するもの。	WP5A	改訂	CACE/713 PSAA
M. 1464-2	無線測位の特性、2700-2900MHz で運用される航空無線航行および気象レーダの共用検討のため特性および保護基準	[勧告内容] 本勧告は、無線測位業務と他業務のシステム運用について定めた勧告であり、本改訂は航空無線航行レーダ A, B の特性の修正及び F1, F2 の記述を追記している。気象レーダの特性及びそれらの関連テキストを削除。軍事標定レーダ M を追記するとともに、レーダ受信機の保護レベルの明確化を行っている。	WP5B	改訂	CACE/713 PSAA
M. 1465-2	3100-3700MHz で運用される無線測位業務の特性および保護基準	[勧告内容] 本勧告は、3100-3700MHz 帯の地上・船舶・航空レーダについての運用の保護基準等の、技術面・運用面の特性について定めている。本改訂は海上で用いられるレーダ C, D を追記。また、保護基準を明確化するためのテキストを追記している。	WP5B	改訂	CACE/713 PSAA
M. 1463-3	1215-1400MHz で運用される無線測位業務の特性および保護基準	[勧告内容] 本勧告は、1215-1400MHz 帯の無線測位業務で運用されるレーダの保護基準及び特性を定める勧告である。本改訂は ESA(Electronically steerable arrays) の特性を追記するもの。	WP5B	改訂	CACE/713 PSAA CACE/606 PSAA
M. 1460-2	2 900-3 100 MHz で運用される無線測位業務の特性および保護基準	[勧告内容] 本勧告は、2900-3100MHz 帯での無線測位システムの保護基準と技術面・運用面での特性について定めたものであり、本改訂は海上レーダの記述の修正及び特性を追記している。	WP5B	改訂	CACE/713 PSAA

F. 1778-1	固定業務における HF 帯 適応システムのためのチャ ネルアクセス要件	[勧告内容] 他のシステムとの与/被干渉を低 減するため、固定及び地上業務に おける HF 帯適応システムのための チャンネルアクセスの技術及び目的 をまとめたものであり、改訂内容 は、勧告タイトルに陸上移動業務 を追記し、DFS についての記載を追 記するもの。	WP5C Q246/5	改訂	CACE/713 PSAA
M. 2009-1	決議 646 (改 WRC-12) に 準拠した UHF 帯の一部に おける公衆保護及び災害 救助運用による利用のため の無線インターフェース標準	[勧告内容] UHF 帯の一部で運用する PPDR に適 用する無線インターフェース標準 を特定するもの。LTE-Advanced 等 のブロードバンド無線標準を追加 等の改訂を行う。	WP5A	改訂	CACE/713 PSAA
M. 2015-1	決議 646 (改 WRC-12) に 準拠した UHF 帯における 公衆保護及び災害救助無 線システムのための周波 数調整	[勧告内容] 決議 646(改 WRC-12)に基づき 1G hz 以下で一部地域で運用する公 衆保護及び災害救助無線の周波数 調整についての指針を提供するも の。決議 ITU-R 53、55、WRC 決議 644 (改 WRC-12)、646(改 WRC-12)、 647(改 WRC-12). に伴う、第 1 地域 の一部 380-470MHz、第 2 地域の 746-806 MHz、806-869 MHz、第 3 地域の 406.1-410 MHz、410-430 MHz、806 824/851-869 MHz 調整を 含む。	WP5A	改訂	CACE/713 PSAA
M. 1457-1 2	地上系 IMT-2000 の詳細 無線インターフェース	[勧告内容] 地上系 IMT-2000 の無線インタフェ ースの詳細仕様に関する勧告。各 技術仕様の更新を行うもの。具体 的には、いくつかの無線インタフ ェースにおける改善された性能の 追加、Overview セクション、GGS への間接的な変更を行い、section 6 及び Annex 1 の再挿入、 Introduction パートへの ITU-R M. 1457 と ITU-R M. 2012 の関係を明 確化する脚注の追加、仕様に対す る明確化の文章が各セクション 5. x. 2 の最初に追加するもの。	WP5D	改訂	CACE/713 PSAA CACE/605
M. 2069-0	レーダ干渉解析のため の、アンテナ回転・アン テナカップリングの影響	[勧告内容] 本勧告は、干渉解析や共存解析の ためのアンテナカップリングにお けるアンテナの回転の影響を記述 したものの。	WP5B	新規	CACE/711
M. 2070-0	IMT-Advanced の地上無 線インターフェースを用 いた基地局の不要輻射特 性	[勧告内容] 本勧告は、IMT-Advanced 地上無線 インターフェースを用いた基地局 の一般的不要輻射特性 (スプリア ス、アウトオブバンド (OOB) 輻射) 特性を提供するもの。	WP5D	新規	CACE/711

M. 2071-0	IMT-Advanced の地上無線インターフェースを用いた移動端末の不要輻射特性	[勧告内容] 本勧告は、IMT-Advanced 端末の世界的普及のための技術的基盤確立に適した、IMT-Advanced 地上無線インターフェースを用いた移動局の一般的不要輻射特性（スプリアス、アウトオブバンド（OOB）輻射）特性を提供するもの。	WP5D	新規	CAGE/711
M. 1638-1	5 250 - 5 850 MHz において運用される気象レーダ、航空無線航行の共用検討のための保護基準及び特性	[勧告内容] 本改訂は、勧告 M. 1849 に重複して記載されている、気象レーダの技術パラメータを削除し、いくつかの非気象レーダの技術パラメータを追記している。また、勧告のフォーマットを新しいものに変更している。	WP5B	改訂	CAGE/711
M. 1827-1	5 091-5 150 MHz の地上アプリケーションに限定される航空移動（R）業務の局のための技術・運用要件のガイドライン	[勧告内容] 本勧告は、5091-5150MHz 帯での空港面に限定した AM(R)S の局の運用・技術面の要件について定めたものである。今回の改訂では、WRC-12 で削除された航空セキュリティシステムのための航空移動業務の反映及び固定衛星帯業務との共用を確保した上での航空移動（R）業務の柔軟性に関する記述の追記を行っている。	WP5B	改訂	CAGE/711
M. 2003-1	60GHz 帯のマルチプルギガビットワイヤレスシステム（MGWS）	[勧告内容] MGWS について、IEEE 及び WGA 規格を更新し、ETSI 規格を訂正するもの。	WP5A	改訂	CAGE/711
M. 1579-2	IMT-2000 移動局のグローバルサーキュレーション	[勧告内容] IMT 端末の国際的な流通のための技術基盤の追加し、エディトリアルな修正を加えるもの。	WP5D	改訂	CAGE/711
M. 1450-5	ブロードバンド無線 LAN の特性	[勧告内容] 4 件の標準（IEEE 802.11ac, IEEE 802.11ad, EN 301 893 及び EN 302 567）、及び関連情報の記載と、57-66 GHz 帯に関する欧州での利用に関する情報の更新を行うもの。	WP5A	改訂	CAGE/673
M. 2059-0	4200-4400 MHz 帯を使用する電波高度計の運用及び技術特性並びに保護基準	[勧告内容] 本勧告案は、航空無線航行業務で使用する 4200-4400 MHz 帯の電波高度計の技術及び運用特性並びに保護基準を規定したもの。	WP5B	新規	CAGE/667
F. 557-5	無線中継システムの仮想参照デジタルパスの稼働率目標	[勧告内容] 仮想参照デジタルパス（HRDP）による無線中継システムの稼働率目標についての勧告であり、改訂内容は、稼働率目標適用域を明記した Scope の追記。HRC 及びアナログ方式に関する記述の削除。	WP5C	改訂	CAGE/667

SF. 356-4	周波数共有を行っているアナログ無線中継システムから固定衛星業務システムへの最大許容干渉値	[勧告内容] アナログ方式の旧式化に伴う勧告の削除。	WP4A/5C	削除	CACE/667
SF. 357-4	周波数共有を行っている固定衛星業務システムからアナログ角度変調された無線中継システムの電話チャンネルへの最大許容干渉値	[勧告内容] アナログ方式の旧式化に伴う勧告の削除。	WP4A/5C	削除	CACE/667
M. 1580-5	IMT-2000 地上無線インターフェースを用いた基地局の不要輻射特性	[勧告内容] IMT-2000 基地局の不要輻射特性に関する情報を更新する。外部団体(3GPP等)からの情報による Annex の更新及び NOTEs の修正を行うもの。	WP5D	改訂	CACE/667
M. 1581-5	IMT-2000 地上無線インターフェースを用いた移動局の不要輻射特性	[勧告内容] IMT-2000 移動局の不要輻射特性に関する情報を更新するための改訂である。外部団体(3GPP等)からの情報による Annex の更新及び NOTEs の修正を行うもの。	WP5D	改訂	CACE/667 CACE/652
M. 1740-0	アマチュアおよびアマチュア衛星業務に関する ITU-R 文書の使用ガイド	[勧告内容] 本勧告を削除し、勧告の内容を WP5A のウェブサイトに掲載することとなった。	WP5A	削除	CACE/667
M. 1222-0	陸上移動無線チャンネルで共用されるデータメッセージ通信	[勧告内容] ITU-R レポート M. 2014-2 の成立後、不要となったため削除が提案されたもの。	WP5A	削除	CACE/667
M. 2057-0	ITS アプリケーションのための 76-81GHz 周波数帯で運用する自動車レーダーのシステム特性	[勧告内容] 本勧告案は、周波数帯域 76-81 GHz 帯での無線標定業務下で運用する自動車用レーダーのシステム特性を特定する。これらの技術的運用的特性は、無線標定業務とその他の業務システム間の自動車用レーダーの両立性研究で使用される。	WP5A	新規	CACE/665 PSAA
M. 2058-0	航行データと称する、海上用 HF 帯における海岸から船舶への海上安全及び保安に関連した情報を放送するためのデジタルシステムの特性	[勧告内容] 本勧告案は、RR Appendix 17 で定められている HF 帯において、海岸から船舶へ海上安全及び保安に関連した情報を放送する無線システム (NAV DAT HF) の特性を規定するもの。	WP5B	新規	CACE/665 PSAA

M. 2008-1	13. 25-13. 40 GHz 帯の航空無線航行業務で運用するレーダーのための特性と保護基準	<p>[勧告内容]</p> <p>本勧告は、13. 25-13. 4 GHz 帯の航空無線航行業務において運用されるレーダーの特性及び保護基準を定めたもの。</p> <p>本改訂案は、航空無線航行業務として運用するレーダーのパラメーターを追加することや、他の勧告と形式を合わせるために、表を新しいフォーマットに適用させることを目的としている。</p>	WP5B	改訂	CACE/665 PSAA
M. 1371-5	VHF 海上移動帯における時分割多元接続を用いた自動識別システムの技術特性	<p>[勧告内容]</p> <p>本勧告は、VHF 帯において時分割多元接続を用いる船舶自動識別装置 (AIS) の技術基準を定めたもの。</p> <p>本改訂案は、メッセージ 27 や AIS 局に関する記述の整合性をとることや、Annex 10 を削除しその内容を勧告の本体に移行すること等を目的としている。</p>	WP5B	改訂	CACE/665 PSAA
M. 1796-2	8500-10680 MHz 帯の無線測位業務で運用する地上レーダーの特性及び保護基準	<p>[勧告内容]</p> <p>本勧告は、8500-10680 MHz 帯において無線測位業務として運用する地上レーダーの技術特性及び保護基準を規定するもの。</p> <p>本改訂案は、既存のレーダーの特性のアップデートや、気象レーダーの特性の削除、そして新たなレーダーの特性の追加を目的としている。なお、本勧告は新しいフォーマットに沿って改訂されている。</p>	WP5B	改訂	CACE/665 PSAA
F. 1336-4	400MHz-70GHz における共用研究用固定・移動業務用オムニ、セクタアンテナ等基準放射パターン	<p>[勧告内容]</p> <p>固定業務で用いられるアンテナの基準モデルについての勧告であり、改訂内容は、移動通信業務用のアンテナにも適用を拡大し、適応可能周波数の下限を 400MHz とし、6GHz までのセクタアンテナ参照パターンとして新規定式を採用し、6GHz 以上のセクタアンテナ参照パターンについては、現行規定式を一部修正するもの。</p>	WP5C Q242/5	改訂	CACE/665 PSAA
F. 1497-2	55. 78-59 GHz の周波数帯で運用する固定無線システムのチャンネル配置	<p>[勧告内容]</p> <p>55. 78-59GHz における固定無線システム (TDD (time division duplex) or FDD (frequency division duplex)) のチャンネル配置について定めたもの。改訂内容は、検討する対象周波数帯を 55. 78GHz~66GHz までに拡大するもの。</p>	WP5C Q247/5	改訂	CACE/665 PSAA

F. 1105-3	災害の緩和と救援のための固定無線システム	[勧告内容] 災害緩和・救援に使われる固定無線システムの特性についての勧告であり、改訂内容は車載搭載型移動体通信基地局と共に運用可能な可搬型のモバイルバックホール用固定無線システムについて、システム例を追加。アナログシステムに関係する旧情報を削除。	WP5C Q248/5	改訂	CACE/665 PSAA
F. 1763-1	66GHz 以下の固定業務で運用されるブロードバンド無線アクセスシステムの無線インタフェース標準	[勧告内容] 本勧告後に作成した関連する ITU-R 勧告へ参照を追記し、それに伴い、本勧告 Annex の削除を行うもの。	WP5A	改訂	CACE/665 PSAA
SF. 674-3	静止衛星軌道上の Region 2 固定衛星業務網が調整閾値電力束密度を超える際の 11.7-12.2GHz で運用する固定業務への影響	[勧告内容] 本勧告は、静止衛星軌道上の固定衛星業務から固定業務への干渉レベル決定手法について述べており、本改訂では、アナログ方式関連など古い記述の削除・更新を行ったものである。	WP4A/5C	改訂	CACE/658
M. 1768-1	地上系 IMT-2000 及び IMT-2000 の後継システムの将来開発のための周波数要求の計算方法	[勧告内容] 地上系 IMT における周波数要求の計算方法に関する勧告。計算方法自体に対する 2 つの変更(1 事業者あたり 1 無線環境あたりの周波数配置の粒度パラメータの導入、RATG2 における異なる無線環境間の周波数共有アプローチでマクロセル及びマイクロセルが同一の周波数を使用すること)等の更新を行うもの。	WP5D	改訂	CACE/610
M. 1176-1	レーダー・ターゲット・エンハンサーの技術パラメータ	[勧告内容] 本勧告は、レーダー・ターゲット・エンハンサー(レーダー標的増幅器)を規定する勧告である。本改訂案は、現行勧告を ITU-R 勧告の現在の様式及び文言に一致させ、ITU-R 勧告 M. 629 においてレーダー・ターゲット・エンハンサーに特定されている周波数帯の利用実態を現行勧告に反映するものであり、技術的仕様の記載内容の理解を助けるため、説明文を追加している。	WP5B	改訂	CACE/606 PSAA

M. 1841-1	87-108 MHz 帯を用いる FM ラジオ放送と、108-117.975 MHz 帯を用いる航空用地上型補強システムの両立性	[勧告内容] 本勧告は、87-108MHz 帯における FM 音声放送と 108-117.975MHz 帯における航空無線航行の両立性を定めるものである。 本改訂案は、2010 年 5 月にモントリオールで行われた、ICAO 航法システムパネルの全体 WG の会合結果を反映し、指定された運用カバーエリアを示す図の差し替え及び参考文献の更新を目的としている。	WP5B	改訂	CACE/606 PSAA
F. 386-9	8GHz (7725-8500MHz) 帯で運用される固定無線システムの無線周波数チャンネル配置	[勧告内容] 8GHz 帯における固定無線のチャンネル配置についての勧告であり、改訂内容は、7725-8275MHz 帯において、新たに 28MHz のチャンネル配置を追加し、また内容が古くなった Annex7 及び Note1 を削除するもの。	WP5C Q247/5	改訂	CACE/606 PSAA
F. 635-7	4GHz 帯で運用される固定無線システムの単一パターンに基づいた無線周波数のチャンネル配置	[勧告内容] 4GHz 帯における固定無線のチャンネル配置についての勧告であり、改訂内容は 60 及び 90 MHz のチャンネル配置の記載を削除するもの。 本改訂は我が国提案によるものである。	WP5C Q247/5	改訂	CACE/606 PSAA
F. 1099-5	4GHz 帯上部 (4400-5000MHz) における中-大容量デジタル固定無線システムの無線周波数チャンネル配置	[勧告内容] 4GHz 帯上部における固定無線システムのチャンネル配置についての勧告であり、60MHz のチャンネル配置の記載を削除する改訂を行っている。本改訂は我が国提案によるものである。	WP5C Q247/5	改訂	CACE/606 PSAA
F. 383-9	6GHz 帯下部 (5925-6425MHz) における大容量固定無線システムのための無線周波数チャンネル配置	[勧告内容] 6GHz 帯下部における大容量固定無線システムのチャンネル配置についての勧告であり、60 及び 90 MHz のチャンネル配置の記載を削除する改訂を行っている。本改訂は我が国提案によるものである。	WP5C Q247/5	改訂	CACE/606 PSAA
F. 339-8	システム全体における帯域幅、信号雑音比 (SNR) 及びフェージング許容量について	[勧告内容] HF 帯における固定業務の信号雑音比及びフェージング許容量の様々な例について記載した勧告であり、固定業務に加えて陸上移動業務の HF 方式も扱うように所掌を拡大することを目的として、HF 方式の帯域幅や SNR に関して情報を追加する改訂を行ったもの。	WP5C	改訂	CACE/606 PSAA

M. 1874-1	3-50 MHz の周波数範囲内のサブバンドで運用する海洋レーダーの技術及び運用特性	[勧告内容] 本勧告は、海洋レーダーの特性を定めるものである。本改訂案は、東北地方太平洋沖地震による津波が、紀伊水道に設置された海洋レーダーで捉えられたという事例を追加することを目的としている。	WP5B	改訂	CACE/606 PSAA
M. 2034-0	アマチュア及びアマチュア衛星業務における 31 ボーPSK によるデータ通信のための電信アルファベット	[勧告内容] アマチュア及びアマチュア衛星業務における 31 ボーPSK 通信のための、電信アルファベット及び通信プロトコルを定めるもの。	WP5A	新規	CACE/606 PSAA
M. 1801-2	6GHz 以下の移動業務における移動及びノマディックアプリケーションを含む BWA の無線インタフェース	[勧告内容] 移動系 BWA の無線インタフェースを定める勧告。IEEE802.11、ETSI HiperMAN、IMT-2000 CDMA DS、IMT-2000 CDMA TDD、IMT-2000 CDMA Multi-Carrier 及び XGP における標準情報の更新、IMT-Advanced の地上系無線インタフェースを新たな Annex として追加、ATIS 標準の削除を行うもの。	WP5A	改訂	CACE/606 PSAA
F. 760-1	20GHz 付近の帯域における衛星放送業務からの干渉に対する見通し内陸上無線中継システムの保護	[勧告内容] 20GHz 付近の帯域における BSS と見通し内の固定通信の共用条件に付いての勧告であり、本勧告記載の PFD マスクは RR に反映され、ITU-R 勧告であらためて規定する必要がなくなったため。	WP5C Q111/9	削除	CACE/605
M. 629-1	周波数帯 2 900-3 100 MHz、5 470-5 650 MHz、9 200-9 300 MHz、9 300-9 500 MHz 及び 9 500-9 800 MHz の無線航行業務のための使用	[勧告内容] 2 900-3 100 MHz 帯、5 470-5 650 MHz 帯、9 200-9 300 MHz 帯、9 300-9 500 MHz 帯及び 9 500-9 800 MHz 帯における無線航行業務の使用を規定する勧告である。本改訂案は、現行勧告を ITU-R 勧告の現在の様式及び文言に一致させ、無線航行業務として運用されている様々なシステムの周波数帯域の利用実態を現行勧告に反映するものである。	WP5B	改訂	CACE/605
M. 824-4	レーダービーコン（レーコン）の技術パラメータ	[勧告内容] 本勧告は、レーコンの技術パラメータを規定する勧告である。本改訂案は、現行勧告を ITU-R 勧告の現在の様式及び文言に一致させ、ITU-R 勧告 M. 629 においてレーコンに特定されている周波数帯の利用実態を現行勧告に反映するもの。	WP5B	改訂	CACE/605

第6章 RAへの対処（SG6関連）

1 研究対象

SG6は、「放送業務」を研究対象としている。
我が国からは、副議長として、西田幸博氏（NHK）を選出している。

2 RA-15に提出される勧告案

RA-15に提出されるSG6の勧告案はない。

3 RA-15に提出される決議案

RA-15に提出されるSG6の決議案はない。

4 課題の見直し

SG6における次会期の研究課題及びその評価一覧を表6-3に示す。今会期は当初、63件の研究課題があり、今会期中に6件の新規追加、11件の改訂及び27件の削除を実施。（回章によりRA-15までに完了予定。）RA-15において承認が必要とされる改訂及び削除はない。次会期の研究課題は、我が国として、引き続き研究を支持する。
主な研究課題の概略は、以下のとおりである。

(1) 研究課題 40-3/6

超高精細度映像

【概要】

HDTVを超える超高精細度映像システムを研究する。

(2) 研究課題 45-5/6

マルチメディア及びデータアプリケーション放送

【概要】

マルチメディア放送及びデータアプリケーション放送について研究する。

(3) 研究課題 130-2/6

テレビ番組の制作、後処理、国際番組交換用デジタルインタフェース

【概要】

UHDTVのインタフェースを研究する。

(4) 研究課題 131/6

マルチメディア放送における共通コアデータフォーマット

【概要】

放送通信連携システム（IBB）に求められるデータフォーマットやAPIの仕様を研究する。

(5) 研究課題 132-3/6

地上デジタル放送の技術とプランニング

【概要】

地上デジタル放送のプランニング基準、保護基準、送信方式を研究する。

(6) 研究課題 139/6

先進的音響フォーマットのレンダリング手法

【概要】

先進的音響システムの番組制作や主観評価で使用されるレンダラーの要求条件と仕様について研究する。

(7) 研究課題 140/6

放送サービスのための世界標準プラットフォーム

【概要】

ユーザがいつでもどこでも簡単に欲しいコンテンツを欲しい形で直ぐに手に入れられるような放送サービスの世界的なプラットフォームについて研究する。

(8) 研究課題 Doc. 6/419 (新規)

放送のための高ダイナミックレンジテレビ(HDR-TV)システム

【概要】

HDR-TV システムについて研究する。

5 参考事項

SG6は、2012年4月、2012年10月、2013年4月、2013年11月、2014年3月、2014年11月、2015年2月、2015年7月に開催され、85件の新規及び改訂勧告案が郵便投票に付され、承認または承認手続き中である。今会期中に郵便投票により承認された勧告リストを表6-4に示す。

重要課題の審議状況、勧告化の動向を以下に示す。

(1) 超高精細度テレビ(UHDTV)関連

HDTVを超える超高精細度テレビ(UHDTV)については、前会期から研究を進め、日本はスーパーハイビジョンの研究成果に基づき先導的な役割を果たしている。今会期では、UHDTVに関する研究が進み、多くの関連勧告が策定された。UHDTVの色域、フレーム周波数、信号フォーマット等の映像フォーマット(BT. 2020)、5.1chを超える新たな音響方式として、日本提案(22.2ch)を含むマルチチャンネル音響技術の技術基準(BS. 2051)、UHDTV用デジタルインタフェース(BT. 2077)、デジタル放送の多重化方式としてMMTの使用を推奨する(BT. 2074)等を勧告化した。

(2) 放送通信連携システム(IBB)

日本ではHybridcastと呼ばれている放送・広帯域通信統合システムIBB(Integrated Broadcast-Broadband)の研究が進められている。日本ではHybridcastの放送が2013年9月に開始され、実放送の経験を活かしITU-Rの場でも日本が先導的な役割を果たしている。今会期では、IBBシステムに関して、IBBの一般要求条件(BT. 2037)、IBBの技術的要件(BT. 2053)、IBBシステムの選択指針(BT. 2075)を勧告化した。BT. 2075にはHybridcast(日本方式)、HbbTV(欧州方式)、HTML5 based Smart TV Platform(韓国方式)の3方式が含まれている。その他、各種IBBシステムの情報を記載している「IBBシステム」レポート(レポートBT. 2267)も作成しており、当該レポートには上記3方式以外に、BMLの拡張によるIBBシステム、GingaミドルウェアによるIBBシステムの情報が含まれている。

(3) マルチメディア放送

携帯端末向けの地上マルチメディア放送について、前会期から研究が進められていた。日本では、ISDB-T マルチメディア放送 (V-High) が 2012 年 4 月に開始され、2015 年 4 月からは番組数の追加など放送内容が拡充されている。前会期において、日本の ISDB-T マルチメディア放送 (ISDB-Tmm 方式) を含む 3 方式 (日、欧、韓) が記載された携帯端末向けの地上マルチメディア放送の送信方式 (BT. 2016) を勧告化した。今会期では、地上マルチメディア放送の置局のための混信保護比等を規定した地上マルチメディア放送の置局のためのプランニング基準 (BT. 2052) が勧告化された。勧告策定に当たっては、日本から積極的に提案を行い、現在、3 方式 (日、韓、欧) を含んだ勧告案が承認手続中である。その他、地上デジタル音声放送とマルチメディア放送の導入事例を記載している新レポートにも日本の事例が含まれ、レポート化された。

(4) 地上放送システム

地上デジタル放送の送信方式を規定しているシステム勧告は、日本の地デジ方式である ISDB-T を含む地デジ第 1 世代のシステム勧告 (BT. 1306) と欧州方式の DVB-T2 を含む地デジ第 2 世代のシステム勧告 (BT. 1877) が勧告化されている。また、置局のためのプランニング基準としては地デジ第 1 世代のプランニング基準 (BT. 1368) は既に勧告化されており、今会期において、新たに地デジ第 2 世代のプランニング基準 (BT. 2033) を勧告化した。中南米、アジア、アフリカ地域での ISDB-T の採用国の拡大や WRC-15 議題 1.1 (IMT 及び他のモバイルブロードバンドの追加分配) において、IMT への新たな周波数分配が検討されている中、日本からは ISDB-T 及び現在の放送業務を保護する観点から、プランニング基準に他の地デジ方式との混信保護比等や地デジと LTE 間の混信保護比等の追加提案を行い、勧告改訂を行った。また、WRC-15 議題 1.1 に関して、JTG4-5-6-7 (SG4, 5, 6, 7 共同で議論する場) で 470-694/698 MHz での地デジと IMT との共用検討が行われ、日本から ISDB-T に関する共用検討を提案し、レポート化 (レポート BT. 2337) された。

(5) 高ダイナミックレンジ (HDR)

映像のピーク輝度を従来よりも高め、表現できる明暗幅を拡大させることで映像をより鮮明に表現する HDR (High Dynamic Range) が各国で検討されつつある状況に鑑み、SG6 では HDR-TV の技術パラメータを規定した新勧告を検討している。2012 年 4 月に米国による HDR に関する規格の提案により、ITU-R での議論が開始。その後、フィリッパース (2013 年 10 月)、BBC、NHK (2014 年 3 月)、日本 (2014 年 11 月) から提案を行い、2015 年 7 月に新勧告草案 (BT. [HDR-TV]) が策定された。本草案では、HDR の非線形伝達関数について 2 種類の方式が併記されており、次回会期で引き続き方式統合の可能性を含めて検討される。なお、次回会期に引き続き HDR-TV の技術的な検討を行うため、新研究課題 (Doc. 6/419) が承認手続中である。

表 6-1 RA-15 に提出される勧告案の評価
(なし)

表 6-2 RA-15 に提出される決議案
(なし)

表 6-3 次会期の研究課題及び評価

研究課題 番号	課題名	概要及び評価	新規 継続 改訂 削除	備考
4-2/6	地上チャンネルを使用するデジタルテレビジョン放送のためのプランニング基準	[概要] 地上デジタル放送のプランニングのための最小電界強度や混信保護比等のパラメータについて研究する。 [評価] 132/6 に包含されており、特段の問題はない。	削除	2015. 10. 14 まで郵便投票中
9/6	地上アナログ及び地上デジタル放送のためのユニバーサル送信機／再送信機	[概要] 地上アナログ／デジタル放送のためのユニバーサル送信機／再送信機について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	
11/6	地上放送業務における放射偏波	[概要] 同一チャンネルの混信妨害を軽減するための円偏波及び楕円偏波について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	
12-3/6	番組制作、素材伝送、一次及び二次伝送、送出並びに関連の応用のためのデジタルテレビジョン信号 (SDTV、EDTV 及び HDTV) の汎用ビットレートの汎用的な圧縮	[概要] SDTV、EDTV、HDTV にて用いられる汎用ビットレートの汎用的な圧縮について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	
14/6	地上テレビジョン放送周波数計画に必要とされるデジタル及びアナログーデジタルテレビジョン受信機及び受信アンテナ特性	[概要] DTTB 開始時に周波数割当て、使用計画に必要とされるデジタルとハイブリッド TV 受信機及び受信アンテナの特性について研究する。 [評価] 研究期間満了であり、既に使用されておらず、役目を終えていることから、特段の問題はない。	削除	2015. 10. 14 まで郵便投票中

15-2/6	大画面デジタル映像 (LSDI)	<p>[概要] 大画面で表示する映像システムの性能、評価基準、運用基準、運用方法、地上又は衛星による配信方法等について研究する。</p> <p>[評価] 研究期間満了であり、既に使用されておらず、役目を終えていることから、特段の問題はない。</p>	削除	2015. 10. 14 まで郵便投票中
16-2/6	デジタル双方向放送システム	<p>[概要] 異なる受信メディアにおける受信機側から放送局側へのリターンデータのシステム間の共通化等について研究する。</p> <p>[評価] 研究期間満了であり、既に使用されておらず、役目を終えていることから、特段の問題はない。</p>	削除	2015. 10. 14 まで郵便投票中
19-1/6	低ビットレート音声符号化規格	<p>[概要] 放送に使用する低ビットレート音声符号化方式について研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	
27/6	30MHz 以下の音声放送用受信機	<p>[概要] 30MHz 以下の音声放送用受信機について研究する。</p> <p>[評価] 研究期間満了であり、既に使用されておらず、役目を終えていることから、特段の問題はない。</p>	削除	2015. 10. 14 まで郵便投票中
29/6	FM 音声放送における単一送信機での補助情報の送信	<p>[概要] FM 音声放送における単一送信機での補助情報の送信について研究する。</p> <p>[評価] 研究期間満了であり、既に使用されておらず、役目を終えていることから、特段の問題はない。</p>	削除	2015. 10. 14 まで郵便投票中
30/6	VHF、UHF 用送受信アンテナ	<p>[概要] VHF、UHF 用送信及び受信アンテナについて研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	

32-1/6	有線通信、産業・科学・医療用機器、短距離通信デバイスからの干渉に対する放送システムの保護要求条件	<p>[概要] ISM 機器及び短距離通信デバイスから発生するノイズから放送システムを保護するための要求条件について研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	
34-2/6	プロ用テレビジョン、LSDI 環境における音声、映像、データ、メタデータ交換用ファイルフォーマット	<p>[概要] 番組制作で用いるファイルフォーマットについて研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	
40-3/6	超高精細画像	<p>[概要] 超高精細映像について臨場感を与える技術特性や評価法を研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	今会期中に改訂実施
44-4/6	デジタルテレビジョン映像の客観画像評価パラメータとその測定及びモニター方法	<p>[概要] デジタルテレビジョン映像の客観品質評価パラメータとその測定及びモニター方法について研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	
45-5/6	マルチメディア及びデータアプリケーション放送	<p>[概要] マルチメディア放送及びデータアプリケーション放送について研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	今会期中に改訂実施
46-1/6	放送における制作とポストプロダクションのためのメタデータ	<p>[概要] プロダクション及びポストプロダクションの過程において、メタデータをどのように定義し、どのように機能させていくか研究する。</p> <p>[評価] 研究期間満了であり、既に使用されておらず、役目を終えていることから、特段の問題はない。</p>	削除	2015. 10. 14 まで郵便投票中

48/6	放送サービス中の知覚音声品質監視法	<p>[概要] 放送網でサービス中の知覚音声品質監視について、適当な方法・技術を研究する。</p> <p>[評価] 研究期間満了であり、既に使用されておらず、役目を終えていることから、特段の問題はない。</p>	削除	2015. 10. 14 まで郵便投票中
49-1/6	限定受信放送システム	<p>[概要] 限定受信放送システムにおける伝送方法及びアクセス制御等について研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	
51/6	LF、MF 及び HF 放送の空間波受信	<p>[概要] 送信機の地理的条件、周波数、季節変動等による受信特性の変化並びにデジタル変調技術を導入した場合に期待される特性改善について研究する。</p> <p>[評価] 研究期間満了であり、既に使用されておらず、役目を終えていることから、特段の問題はない。</p>	削除	2015. 10. 14 まで郵便投票中
52-1/6	LF、MF 及び HF 放送のカバレッジ	<p>[概要] 周波数効率良くサービス区域をカバーするための要件について研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	
53/6	HDTV 及び EDTV を含む地上又は衛星放送におけるテレビジョン 1 チャンネルあたりの複数音声信号の送信のための規格	<p>[概要] デジタル変調を使用するものを含む地上テレビジョン及び衛星放送において、映像信号に対して複数音声信号を統合する場合の送信方式について研究する。</p> <p>[評価] 研究期間満了であり、既に使用されておらず、役目を終えていることから、特段の問題はない。</p>	削除	2015. 10. 14 まで郵便投票中

55/6	デジタル技術を使用した放送用音声品質の主観評価	<p>[概要] デジタルシステムに関して、主観評価と客観的測定の関係进行研究する。</p> <p>[評価] 研究期間満了であり、既に使用されておらず、役目を終えていることから、特段の問題はない。</p>	削除	2015. 10. 14 まで郵便投票中
56-1/6	車載、携帯又は固定受信向けの地上デジタル音声放送方式の特性	<p>[概要] 車載、携帯又は固定受信のための地上デジタル音声放送システムの特性について研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	
59-1/6	音声放送番組の長期保存	<p>[概要] 放送目的で蓄積されるデジタル・アナログ音声の信号フォーマット及び蓄積メディアへの最適な記録方法について研究する。</p> <p>[評価] 研究期間満了であり、既に使用されておらず、役目を終えていることから、特段の問題はない。</p>	削除	2015. 10. 14 まで郵便投票中
60/6	30MHz 以下の周波数におけるデジタル放送	<p>[概要] 30MHz 以下の LF、MF 及び HF バンドにおいてデジタル放送導入のための研究をする。</p> <p>[評価] 研究期間満了であり、既に使用されておらず、役目を終えていることから、特段の問題はない。</p>	削除	2015. 10. 14 まで郵便投票中
62/6	音声品質における小規模、中規模及び大規模な品質劣化の主観評価法	<p>[概要] 音声品質における主観評価法について研究を行い勧告 BS. 1116 の改訂を課題とする。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	
64-1/6	30MHz 以下の周波数でのデジタル放送のためのプランニング基準	<p>[概要] 30MHz 以下の（LF、MF、及びHFバンドにおける）デジタル放送のプランニングパラメータについて研究する。</p> <p>[評価] 研究期間満了であり、既に使用されておらず、役目を終えていることから、特段の問題はない。</p>	削除	2015. 10. 14 まで郵便投票中

65/6	音声放送のためのスペクトル要求条件	<p>[概要] 地上音声放送や既存及び将来の業務を考慮したデジタル放送に求められるスペクトル要求条件について研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	
69-1/6	反射波がある場合の満足すべきテレビジョンサービスの条件	<p>[概要] テレビジョン受信機が満足すべき直接波と遅延波の比について研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	
80/6	狭帯域地上チャンネルにおけるデジタルテレビジョン放送のための符号化	<p>[概要] 地上テレビジョンチャンネルにおいて HDTV 等の信号を符号化及び多重化し導入していくための最適な方法を研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	
88/6	立体テレビ画像の主観評価	<p>[概要] 立体テレビ画像の画質主観評価のための最適なディスプレイシステムと物理的パラメータ及び視聴者への影響について研究する。</p> <p>[評価] 研究期間満了であり、既に使用されておらず、役目を終えていることから、特段の問題はない。</p>	削除	2015. 10. 14 まで郵便投票中
89-1/6	電子ニュース取材 (ENG) のユーザ要求	<p>[概要] ENG に特有の画質、音声及び装置等のユーザ要求条件について研究する。</p> <p>[評価] 研究期間満了であり、既に使用されておらず、役目を終えていることから、特段の問題はない。</p>	削除	2015. 10. 14 まで郵便投票中
93/6	電子ニュース取材 (ENG) の周波数要求条件	<p>[概要] ENG のための最適な周波数について、運用面及び他業務との共用を含めて研究する。</p> <p>[評価] 研究期間満了であり、既に使用されておらず、役目を終えていることから、特段の問題はない。</p>	削除	2015. 10. 14 まで郵便投票中

95/6	テレビジョン放送応用におけるコンピュータ技術の使用	<p>[概要] テレビジョン放送応用にコンピュータ技術を適用した場合の技術的事項について研究する。</p> <p>[評価] 研究期間満了であり、既に使用されておらず、役目を終えていることから、特段の問題はない。</p>	削除	2015. 10. 14 まで郵便投票中
96-1/6	番組制作におけるテレビジョン記録のためのファイル管理及び伝送プロトコルのユーザ要求	<p>[概要] 2台の装置間でデータを転送する際のファイル管理、転送プロトコル、及びデータインタコネクトの問題を解消することについて研究する。</p> <p>[評価] 研究期間満了であり、既に使用されておらず、役目を終えていることから、特段の問題はない。</p>	削除	2015. 10. 14 まで郵便投票中
99/6	マルチメディア環境における品質、品質評価方法及びアプリケーション種類の関係	<p>[概要] マルチメディア環境における映像及び音声の品質、品質評価方法及びアプリケーションについての技術的事項について研究する。</p> <p>[評価] 研究期間満了であり、既に使用されておらず、役目を終えていることから、特段の問題はない。</p>	削除	2015. 10. 14 まで郵便投票中
100/6	テレビジョン及びマルチメディア画像品質レベル	<p>[概要] 映像送信を含む放送環境におけるテレビジョンシステムの画像品質を基準とした、干渉、論理性及び効果による分類について研究する</p> <p>[評価] 研究期間満了であり、既に使用されておらず、役目を終えていることから、特段の問題はない。</p>	削除	2015. 10. 14 まで郵便投票中
102-3/6	音声/映像品質の主観的評価法	<p>[概要] 音声及び映像品質の主観的評価法について研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	今会期中に 改訂実施

105/6	テレビジョン放送のスペクトラム要求条件	<p>[概要] デジタル放送への移行期間、及び移行完了後における地上放送用スペクトラムに関する要求事項を研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	
108/6	熱帯地域におけるバンド7 (HF)でのデジタル放送	<p>[概要] 熱帯地域におけるバンド7 (HF)でのデジタル放送について研究する。</p> <p>[評価] 研究期間満了であり、既に使用されておらず、役目を終えていることから、特段の問題はない。</p>	削除	2015. 10. 14 まで郵便投票中
109/6	配信と放送網のサービス中の知覚音声映像品質の監視	<p>[概要] 放送サービス中の知覚音声映像品質について監視する最適な方法と技術を研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	
111-1/6	インタラクティブ放送システム(テレビ、音声及びデータ)におけるエンドユーザのプライバシー保護のための技術手段	<p>[概要] インタラクティブ放送におけるユーザからの情報流出を防ぐための技術的対策を研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	
112-1/6	放送番組の記録、保存、再生におけるデジタルサーバを利用した設備の機能に関するガイドライン	<p>[概要] デジタルサーバを運用するにあたって必要な設備ガイドラインについて研究する。</p> <p>[評価] 研究期間満了であり、既に使用されておらず、役目を終えていることから、特段の問題はない。</p>	削除	2015. 10. 14 まで郵便投票中
113/6	放送システムを通じたLSDI上映場所から/へ (to and from LSDI)のインタラクティブ情報の配信	<p>[概要] 放送システムからLSDI上映場所への配信、上映場所間でのネットワーク接続のための技術条件、放送システムに提供されたコンテンツを有するLSDI上映場所における技術条件等について研究する。</p> <p>[評価] 研究期間満了であり、既に使用されておらず、役目を終えていることから、特段の問題はない。</p>	削除	2015. 10. 14 まで郵便投票中

114/6	周波数プランニングに必要なテレビ受信機と受信アンテナ特性	<p>[概要] テレビジョンの周波数プランニングの検討に資するために、必要な情報として、テレビ受信機及びアンテナ特性等について研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	
118-1/6	放送による公衆警報および災害救援	<p>[概要] 災害救援無線通信における地上放送業務及び衛星放送業務の役割等について研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	
120/6	第2地域におけるデジタル音声放送	<p>[概要] 第2地域におけるデジタル放送の協定に、デジタル音声放送を含めたもの。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	
121/6	ワイヤレスマイクの周波数利用およびユーザ要求	<p>[概要] 放送用ワイヤレスマイクに関して、運用上の特徴、周波数アレンジメントの方策、最適な帯域幅等について研究する。</p> <p>[評価] 研究期間満了であり、既に使用されておらず、役目を終えていることから、特段の問題はない。</p>	削除	2015. 10. 14 まで郵便投票中
122/6	客観音質測定法	<p>[概要] 中間音質の主観評価結果やマルチチャンネル音声の主観評価結果に対応した音質が測定可能な客観音質測定法について研究する。</p> <p>[評価] 研究期間満了であり、既に使用されておらず、役目を終えていることから、特段の問題はない。</p>	削除	2015. 10. 14 まで郵便投票中
123/6	デジタル SDTV/HDTV 放送番組の知覚画質改善のための番組制作におけるアプローチ	<p>[概要] 伝送する映像信号の仕様変更をせずに知覚画質を改善するためのデジタル技術のアプローチについて研究する。</p> <p>[評価] 研究期間満了であり、既に使用されておらず、役目を終えていることから、特段の問題はない。</p>	削除	2015. 10. 14 まで郵便投票中

124/6	デジタル放送のプランニング手順の検証と確認のための測定方法	[概要] デジタルテレビジョン放送と音声放送のプランニング手順における検証と確認のための測定方法について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	
126-1/6	TV 番組素材をいろいろな画質レベルやサイズでの放送応用に適用させるための望ましい運用方法	[概要] 番組素材を様々な画質レベルやサイズに変換して放送する際の望ましい運用方法について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	
127/6	26MHz 帯近距離ローカル放送用デジタル変調の干渉軽減技術	[概要] 26MHz 帯を近距離向け放送に用いる際に必要なデジタル変調の干渉軽減技術について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	
128-2/6	放送のためのデジタル 3DTV システム	[概要] 3DTV の視聴環境、映像/音声品質、主観及び客観評価について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	今会期中に改訂実施
129/6	VHF での地上 FM 音声放送伝送における音声信号処理とコンプレッション技術の影響	[概要] 音声信号処理やコンプレッションが平均送信電力やプランニングに与える影響を研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	
130-2/6	テレビ番組の制作、後処理、国際番組交換用デジタルインターフェース	[概要] UHDTV のインターフェースを研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	今会期中に改訂実施
131/6	マルチメディア放送における共通コアデータフォーマット	[概要] マルチメディア放送のデータフォーマットや API の仕様を研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	
132-3/6	地上デジタル放送の技術とプランニング	[概要] 地上デジタル放送の技術とプランニングを研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	今会期中に改訂実施

133-1/6	地上デジタルテレビジョンの高度化	[概要] 地上デジタルテレビジョンの高度化を研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	今会期中に改訂実施
134/6	国際交換のためのデジタル音声番組信号の記録	[概要] デジタル音声番組交換の記録フォーマットや媒体について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	
135-1/6	附属画像を伴う/伴わないデジタル音響システムのためのシステムパラメータ	[概要] デジタル音響システムのシステムパラメータについて研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	今会期中に改訂実施
136-2/6	全世界的な放送ローミング	[概要] 全世界的な放送ローミングについて研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	今会期中に改訂実施
137/6	放送番組伝送用インターネットプロトコル (IP) インタフェース	[概要] 放送番組全般を対象とした IP インタフェースについて研究する。 [評価] 特段の問題はない	継続	今会期中に新規追加
138/6	ラウドネス準拠の識別方法	[概要] ラウドネス準拠を確認する手法を広く利用可能になるようにする [評価] 特段の問題はない。	継続	今会期中に新規追加
139/6	先進的音響フォーマットのレンダリング手法	[概要] 先進的音響システムの番組制作や主観評価で使用されるレンダラーの要求条件と仕様について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	今会期中に新規追加
140/6	放送サービスのための世界標準プラットフォーム	[概要] ユーザがいつでもどこでも簡単に欲しいコンテンツを欲しい形で直ぐに手に入れられるような放送サービスの世界的なプラットフォームについて研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	今会期中に新規追加

Doc. 6/416	放送音声のインターネット配信	[概要] ウェブによる放送音声の配信について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	新規	2015. 10. 14 まで郵便投票中
Doc. 6/419	放送のための高ダイナミックレンジテレビ (HDR-TV) システム	[概要] HDR-TV システムについて研究する。 [評価] 特段の問題はない。	新規	2015. 10. 14 まで郵便投票中

表 6-4 今会期中に承認された勧告

勧告番号	勧告名	勧告の内容及びコメント	関連 WP/課 題番号	新規 改訂 削除	備考
BT. 709-6	番組制作と国際番組交換のための HDTV 規格のパラメータ値	BT. 1886 に規定される EOTF と、BT. 2035 に規定される視聴環境へのリファレンスを明記し、アナログ放送に関する規定を削除する改訂。	WP6C	改訂	CACE/ 734
BS. 774-4	UHF/VHF 帯を用いた車載、ポータブル、固定受信機向けのデジタル音声放送のサービスの要求条件	先進的受信機の動作に関する勧告改訂。勧告の invites に 3 a simple indicator of the received RF field level and of the bit error rate. を追加する等の改訂。BS. 1114, BS. 1348 と同時に改訂。	WP6A	改訂	CACE/ 679
BS. 775-3	映像有り及び無しのマルチチャンネルステレオ音響システム	低周波数エフェクトチャンネルの使用について、ユーザ追加ガイダンスを提供する情報文書を追加する改訂。	WP6C	改訂	CACE/ 581
BS. 1114-9	30~3000MHz 帯を使った自動車、携帯、固定受信機向けデジタル音声放送	先進的受信機の動作に関する勧告改訂。勧告の invites に 3 a simple indicator of the received RF field level and of the bit error rate. を追加する等の改訂。BS. 774, BS. 1348 と同時に改訂。(CACE/679) 地上デジタル音声放送システム勧告にシステム C (IBOC) のパラメータを追加する改訂。(CACE/734)	WP6A	改訂	CACE/ 679 CACE/ 734

BS. 1116-3	高品質音声符号化システムの主観音質評価法	オリジナルとの差が小さいときに使用される音声の主観評価法に関する改訂。 (CACE/679) 室内応答は調整対象を前方スピーカに特定すること、スピーカの音圧調整は調整値をスピーカ数に依存しないことを主に規定する改訂。 (CECE/714)	WP6C	改訂	CACE/ 679 CACE/ 714
BS./BT. 1195-1	VHF帯及びUHF帯用送信アンテナ特性	送信アンテナの放射パターンを記述する際の角度の定義を修正する改訂。	WP6A	改訂	CACE/ 603
BS. 1196-4	デジタル放送のための音声符号化	デジタル放送のための音声符号化に関する勧告 BS. 1196-2 で推奨される音声符号化方式として、Extended HE (high efficiency) AAC を追加する改訂。(CACE/581) (1) "Considering" 及び "Further Recommends" の再構成、(2) Table 2 及び Appendix 2 の更新、並びに (3) Appendices の有益なものへの明確化を行う改訂。 (CACE/714) MPEG 符号化における Coding Independent Code Points (CICP) として規定されたスピーカレイアウトとそのラベリング方法を ANNEX 6 (INFORMATIVE) として追加する他、準拠規格の更新を行う改訂。(郵便投票中)	WP6B	改訂	CACE/ 581 CACE/ 714 2015.1 0.14 まで郵便投票中
BT. 1203-2	エンド・ツー・エンド TV システムにおけるデジタル TV 信号の汎用的映像ビットレート低減符号化に対するユーザ要求	ユーザ要求の対象となる映像符号化方式に HEVC 規格を追加すること、UHDTV のパラメータ値を追加する改訂。	WP6B	改訂	CACE/ 714
BT. 1206-2	地上デジタルテレビジョン放送の特定スペクトラム制限マスク	帯域外放射の一般的なマスクを規定する勧告 ITU-R SM. 1541 との関係性を明確化するために、勧告 ITU-R BT. 1206 を周波数使用条件によって必要とされる特定マスクを規定する勧告とする改訂。 (CACE/603) DTMB-A (中国方式) の追加を求めるスペクトラムマスク勧告改訂。(CECE/679)	WP6A	改訂	CACE/ 603 CACE/ 679
BT. 1306-7	地上デジタル放送の誤り訂正、データフレーム、変調、送信方法	中国の地デジ方式「DTMB-A」を第1世代の地上テレビジョンのシステム E として追加する改訂。	WP6A	改訂	CACE/ 734

BS. 1348-3	30MHz 以下の周波数帯におけるデジタル音声放送の要求条件	先進的受信機の動作に関する勧告改訂。勧告の invites に 3 a simple indicator of the received RF field level and of the bit error rate. を追加する等の改訂。BS. 774, BS. 1114 と同時に改訂。	WP6A	改訂	CACE/ 679
BT. 1364-3	デジタルコンポーネントスタジオインタフェースで伝送される補助データ信号の形式	SDI インタフェースのプランニング期間を利用して補助データパケットを伝送する際の共通規定を UHDTV インタフェースにも適用する改訂。	WP6B	改訂	2015. 1 0. 14 ま で郵便 投票中
BT. 1365-1	HDTV/UHDTV のシリアルインタフェースにおける補助データ信号としての 24 ビットデジタル音声形式	シリアルデジタルインタフェースのプランニング期間を利用して補助データパケットにより音声データを伝送する際の規定を UHDTV インタフェースにも適用する改訂。	WP6B	改訂	2015. 1 0. 14 ま で郵便 投票中
BT. 1367-1	勧告 BT. 656、勧告 BT. 799、勧告 BT. 1120、勧告 2077 の Part 3 に規定される信号のシリアルデジタルファイバ伝送システム	光インタフェースの物理層の規定として、UHDTV シリアルデジタルインタフェースの勧告 BT. 2077 の Part 3 に規定された 6G/12G/24G 信号の光インタフェースに関する物理層の仕様を追加する他、実装時の参考情報を追加する改訂。	WP6B	改訂	2015. 1 0. 14 ま で郵便 投票中
BT. 1368-12	地上デジタルテレビジョンサービスの混信保護比を含むプランニング基準	Annex2 の DVB-T のプランニング基準の記載において、LTE 基地局及びユーザ端末 (UE) から DVB-T の受信機への干渉 (混信保護) について情報を更新する改訂。(CACE/603) ISDB-T を含む地デジシステムのプランニング基準を規定に、ISDB-T 6MHz 受信機と LTE の間の混信保護比と過入力しきい値を追加する改訂。(CACE/663) 地デジのプランニング基準に 6MHz ISDB-T への DVB-T2 からの混信保護比並びに 6MHz DTMB への DTMB 及び NTSC からの混信保護比を追加する改訂。(CACE/714)	WP6A	改訂	CACE/ 603 CACE/ 663 CACE/ 714
BS. 1534-2	オーディオシステムの間接品質における主観的評価法	オリジナルとの差がある程度ある中間音質に対して使用される音声の主観評価法を規定する改訂。(CACE/679) 勧告 BS. 2051 で規定された先進的音響システムでも使用可能とする改訂。(郵便投票中)	WP6C	改訂	CACE/ 679 2015. 1 0. 14 ま で郵便 投票中
BT. 1543-1	番組制作と国際番組交換のための 60Hz 環境における 1280×720,	EOTF に関する記述を追加し、アナログ表現規定を削除する	WP6C	改訂	CACE/ 734

	16:9 順次走査映像形式	改訂。			
BS. 1548-4	デジタル放送用における音声符号化方式コーディングのユーザ要求条件	要求条件を満足する符号化方式に関する情報を追加する改訂。(CACE/581) 5.1ch 音声の高品質送達を満たす音声符号化方式の一つとして AAC LC with MPEG Surround を追加する改訂。(CACE/603)	WP6B	改訂	CACE/581 CACE/603
BS. 1660-6	VHF 帯地上デジタル音声放送のプランニングのための技術的基礎	DRM が DVB-T から受ける影響を DAB と同じとしているが、帯域の違いを考慮する内容に変更する改訂。(CACE/581) 欧州のデジタル音声システムのスペクトラムマスクの見直しにあわせて DRM+ のスペクトラムマスクを修正する改訂。(郵便投票中)	WP6A	改訂	CACE/581 2015.10.14 まで郵便投票中
BT. 1674-1	放送における制作及びポストプロ用のメタデータ要求条件	勧告内で参照している 2 つの SMPTE 文書の更新を反映し、エディトリアルな修正を行う改訂。内容に関する大きな変更は含まれていない。	WP6B	改訂	CACE/734
BS. 1679-0	劇場環境での上映を目的とした大画面映像に対する音響品質の主観評価法	劇場環境における LSDI 応用において勧告 BS. 2051 に規定された先進的音響システムを使用する際に、音響品質の主観評価を行う際に必要となる事項を追加する改訂。	WP6C	改訂	2015.10.14 まで郵便投票中
BT. 1680-1	劇場環境での上映を意図した LSDI 応用における配信用ベースバンド映像フォーマット	LSDI の映像フォーマットとして勧告 BT. 2020 で規定された UHD TV を追加する改訂。	WP6C	改訂	CACE/679
BT. 1699-2	インタラクティブ TV の宣言型コンテンツフォーマットの調和	BML の Type2 に関する記述の追加した改訂。	WP6B	改訂	CACE/603
BT. 1735-3	勧告 ITU-R BT. 1306 で規定された地上デジタルテレビジョン放送システム B の放送信号の受信品質の客観的評価方法	SFN においても本勧告で定義しているものと同様な客観的評価ができるようにするとともに、3 段階評価による簡易的な評価手法を追記した改訂。(CACE/581) 送信機または中継送信機が勧告の既存のバージョンに示された値より低い MER 値を持つ可能性について考慮した修正を行う改訂。(CACE/663) MER (Modulation Error Ratio) の定義を明確化する改訂。(CACE/714)	WP6A	改訂	CACE/581 CACE/663 CACE/714
BS. 1738-0	国際素材伝送回線における 4 および 8 音声チャンネルの識別と配列	Lt、Rt、Lo、Ro が意味する内容を説明するテキストを追加した他、8 トラック音声チャンネルとして、新たに 1 つの組合せを追加する改訂。	WP6C	改訂	2015.10.14 まで郵便投票中

BS. 1770-3	音声番組ラウドネス及び真ピーク音声レベルの測定アルゴリズム	ラウドネス測定アルゴリズムの高域信号強調と DC 成分除去ブロックの削除及びオーバーサンプリングフィルタ係数例の追加を行う改訂。 (CACE/581) 5.1ch を超えたチャンネルベースの先進的音響システムに対応するラウドネス測定アルゴリズムを規定する ANNEX 3 を追加することを主要目的とする改訂。(郵便投票中)	WP6C	改訂	CACE/ 581 2015.1 0.14 まで郵便投票中
BO./BT. 1774-0	公衆への警報周知、災害の軽減・防止のための衛星・地上放送インフラの利用	日本および韓国の緊急警報放送に関するケーススタディやアナログテレビに関する記述を削除する改訂。	WP6A	改訂	2015.1 0.14 まで郵便投票中
BT. 1833-3	携帯端末による移動受信のためのマルチメディア放送とデータアプリケーション	マルチメディア放送のアプリケーションレイヤーに関する勧告に DVB-T2Lite を追加する改訂。(CACE/581) 本勧告をはじめとするマルチメディア放送システムに関する勧告及びレポートの再構成の結果、マルチメディア放送システムに対する要求条件を規定する文書とした改訂。 (CACE/663)	WP6B	改訂	CACE/ 581 CACE/ 663
BT. 1847-1	番組制作と国際番組交換のための 50Hz 環境における 1280×720, 16:9 順次走査映像形式	同期信号以外のアナログ表現規定を削除する改訂。	WP6C	改訂	CACE/ 734
BT. 1848-0	16:9 ワイドスクリーンのデジタル制作のセーフエリア	4K、8K に対するセーフエリアの規定を追加する改訂。	WP6C	改訂	2015.1 0.14 まで郵便投票中
BT. 1870-1	デジタル TV 放送における映像符号化方式	(1) デジタル TV 放送において使用する映像符号化方式として H.265 (HEVC) を追加、更に (2) H.262、264 との 3 方式から選択可とする、(3) 新たな導入に当たっては H.265 を推奨することとする改訂。	WP6B	改訂	CACE/ 714
BT. 1871-1	ワイヤレスマイクのユーザ要求条件	各国のラジオマイクの利用周波数情報を更新する改訂。	WP6A	改訂	CACE/ 734
BT. 1877-1	第 2 世代地上デジタルテレビジョン放送の誤り訂正、データフレーミング、変調及び送信方式	DVB-T2 の伝送方式に DVB-T2Lite のパラメータを追加した改訂。	WP6A	改訂	CACE/ 581
BT. 1893-0	風車によるデジタルテレビ放送受信障害の評価方法	noting 、 recommends 、 encourages の修正を行う改訂。	WP6A	改訂	2015.1 0.14 まで郵便投票中

BT. 2016-1	VHF/UHF 帯における携帯受信機を用いた移動受信向け地上マルチメディア放送の誤り訂正、データフレーミング、変調、及び送信方法	地上マルチメディア放送のシステムを規定する新勧告。ISDB-Tmm（日本方式）が含まれている。(CACE/569) DVB-H 及び DVB-T2 の T2-Lite プロファイルの追加した改訂。(CACE/603)	WP6A	新規改訂	CACE/569 CACE/603
BS. 2019	放送のための 3DTV 番組制作及び国際交換のためのオーディオシステム	放送のための 3DTV 番組の音声コンポーネントの制作及び国際交換に使用するオーディオシステムを規定する新勧告。	WP6C	新規	CACE/581
BT. 2020-1	UHDTV システムの制作及び国際番組交換のためのパラメータ値	UHDTV システムの番組制作及び国際交換に関するパラメータ値を規定する新勧告。(CACE/581) フレーム周波数の表（表 2）の注として、100Hz と 120/1.001Hz に 関 する Informative footnote の表記を挿入する改訂。(CACE/679) フレーム周波数の表（表 2）に、100Hz と 120/1.001Hz を追加し、表に付いていた注を削除すると共に、レポート BT. 2246 に UHDTV の現状が記載されていることを示す noting を追加する改訂。(郵便投票中)	WP6C	新規改訂	CACE/581 CACE/679 2015.10.14 まで郵便投票中
BT. 2021-1	二眼式立体 TV システムの主観評価法	一般的試験法、評価スケール及び観視条件を含むステレオスコピック 3DTV システムの評価法に関する新勧告。(CACE/581) 勧告 BT. 500 に規定された 2 つの主観評価法 (the double-stimulus impairment scale (DSIS) method and the simultaneous double stimulus for continuous evaluation (SDSCE) method) を本勧告に追加する改訂。(CACE/714)	WP6C	新規改訂	CACE/581 CACE/714
BT. 2022	フラットパネルディスプレイ上の SDTV, HDTV の主観評価のための一般的観視条件	CRT に置き換わるフラットパネルディスプレイについて、SDTV, HDTV の主観評価のための一般観視条件を規定する新勧告。	WP6C	新規	CACE/581
BT. 2023	3DTV 番組の制作、国際交換及び放送の性能要求条件	放送のためのステレオスコピック HDTV 3DTV 番組の制作及び国際交換について、デジタル映像システムの性能要求条件を規定した新勧告。	WP6C	新規	CACE/581

BT. 2024	放送用 3DTV 番組制作及び国際番組交換のための HDTV デジタル映像システム	放送用 3DTV 番組制作及び国際番組交換について、HDTV デジタル映像システムを規定する新勧告。	WP6C	新規	CACE/581
BT. 2025	放送用 3DTV 番組制作及び国際番組交換のための 720/P デジタル映像システム	放送用 3DTV 番組制作及び国際番組交換について、720/P デジタル映像システムを規定する新勧告。	WP6C	新規	CACE/581
BT. 2026	SDTV 及び HDTV 番組の配信チェーンにおける運用中の「知覚的透明性」の測定及び監視を行うためのシステム導入に関するガイドライン	テレビの配信チェーンに導入されたテレビ番組の知覚品質の障害を測定・監視する運用中の測定方法を導入する際に考慮すべき条項を規定する新勧告。	WP6B	新規	CACE/581
BT. 2027	HDTV/3DTV 番組の制作と国際交換のためのシリアルデジタルインタフェース	HDTV 3DTV 番組の制作と国際交換のためのシリアルデジタルインタフェースを規定する新勧告。	WP6B	新規	CACE/581
BS. 2032	デジタルオーディオサンプルクロックと基準映像機器の同期	ラポータグループが中心となって作成したデジタル音声機器の同期を規定する新勧告。	WP6B	新規	CACE/603
BT. 2033-1	VHF/UHF 帯第 2 世代地上デジタルテレビジョン放送システムの混信保護比を含むプランニング基準	第 2 世代地上デジタルテレビジョン放送システム (DVB-T2) のプランニングに関する新勧告。(CACE/603) 6MHz ISDB-T から DVB-T2 への混信保護比を追加する改訂。(CACE/714)	WP6A	新規改訂	CACE/603 CACE/714
BT. 2035	HDTV 番組の評価のための標準観視環境	HDTV の完成番組を異なる施設でもできるだけ同じに見えるようにすることを目的として観視環境や観視条件を規定する新勧告。	WP6C	新規	CACE/624
BT. 2036	地上デジタル放送の周波数プランニングのための標準受信システム特性	プランニング基準を作成する際に標準となる受信機特性を規定する新勧告。	WP6A	新規	CACE/624
BT. 2037	放送・通信連携システムの一般要求条件	ITU-T SG9 で勧告化された CATV 環境における放送・通信連携システムのアプリケーション制御フレームワークの要求条件 (勧告 ITU-T J.205) をベースとして、放送中心型の放送・通信連携システムに対する一般的な要求条件を規定する新勧告。	WP6B	新規	CACE/624
BT. 2038	HDTV 品質の 3DTV 放送番組の国際番組交換のための伝送方式	HDTV 品質の 3DTV 放送番組を圧縮した信号により国際番組交換を行う際の、好ましい圧縮符号化方法を規定する新勧告。	WP6B	新規	CACE/624

BT. 2050	HDTV 番組の評価のための標準視聴環境	UHDTV 制作機器を用いて収録・編集等を行い、最終的に方式変換することによって、高画質の HDTV 番組を制作することを推奨する新勧告。	WP6C	新規	CACE/ 663
BS. 2051	地上デジタル放送の周波数プランニングのための標準受信システム特性	番組制作のための先進的音響システムに関する新勧告。チャンネルベース、オブジェクトベース、それらを組合せたシステムにおけるスピーカレイアウトやメタデータに対する要求条件等を規定。	WP6C	新規	CACE/ 663
BT. 2052-0	VHF/UHF 帯における携帯受信機を用いた移動受信向け地上マルチメディア放送のプランニング基準	移動受信向けマルチメディア放送のプランニング基準に関する新勧告。ISDB-Tmm と韓国方式 (T-DMB、AT-DMB) について記載されている。(CACE/663) マルチメディア放送システム A (T-DMB、AT-DMB) に関するプランニング基準の追加、マルチメディア放送システム T2 (T2 Lite profile of DVB-T2 system) を追加する改訂。(郵便投票中)	WP6A	新規改訂	CACE/ 663 2015. 1 0. 14 まで郵便投票中
BT. 2053	放送通信連携システムの技術的要求条件	放送通信連携 (IBB) システムの技術的要求条件を規定する新勧告。	WP6B	新規	CACE/ 663
BT. 2054	移動受信のためのマルチメディア放送システムにおける多重化及び伝送方式	マルチメディア放送の多重化・伝送方式を規定する新勧告。勧告 ITU-R BT. 1833 をはじめとするマルチメディア放送システムに関する勧告及びレポートの再構成にあたり作成された。	WP6B	新規	CACE/ 663
BT. 2055	移動受信のためのマルチメディア放送システムにおけるコンテンツ要素	マルチメディア放送のコンテンツ要素部分を規定する新勧告。勧告 ITU-R BT. 1833 をはじめとするマルチメディア放送システムに関する勧告及びレポートの再構成にあたって作成。	WP6B	新規	CACE/ 663
BT. 2056	IP 網による HDTV の国際番組交換のためのハイレベルなガイドライン	HDTV 番組を、IP 網を利用して素材伝送する際に必要とされる条件をガイドラインとして規定する新勧告。	WP6B	新規	CACE/ 663
BT. 2072	放送ローミングのための受信機の機能	全世界的な放送ローミングのための受信機の主機能を定義する新勧告。今後の受信機の開発・生産において考慮されるべき諸機能のリストが記載。	WP6A	新規	CACE/ 714

BT. 2073	UHDTV 及び HDTV 放送における HEVC 規格の使用	UHDTV や HDTV 放送において非常に高い圧縮率で符号化を行う必要がある場合、HEVC 規格の使用を推奨する内容の新勧告。放送応用において HEVC 規格を使用する際に役立つ情報を 4 つの Annex として添付。	WP6B	新規	CACE/714
BT. 2074	MMT を用いる放送システムにおけるサービス構成、メディアトランスポートと制御情報	放送システムで使用するにあつたつての MMT 標準規格に対する制約事項が記載された新勧告。	WP6B	新規	CACE/734
BT. 2075	放送通信連携システム	Hybridcast、HbbTV、HTML5 based smart TV platform の 3 つのシステムを、技術要素や提供できるサービスを比較することで選択するガイダンスを与える新勧告案。	WP6B	新規	CACE/734
BS. 2076-0	音響定義モデル	Audio Definition Model に関する新勧告。先進的マルチチャンネル音響システム、特にオブジェクトベース音響システムに使用されるメタデータ構造を規定。	WP6B	新規	CACE/734
BT. 2077-0	UHDTV 信号の実時間リアルデジタルインタフェース	UHDTV インタフェース 3 方式を推奨する新勧告で、各方式の特徴及び選択のための情報も記載。(CACE/734) BT. 2077 の Part 2 に、スタジオ間伝送等 (2km 以下を想定) に用いるシングルモードファイバー伝送の規定を追加する改訂。(郵便投票中)	WP6B	新規改訂	CACE/734 2015.10.14 まで郵便投票中
BT. [709T02020] Doc. 6/413 (Rev. 1)	勧告 BT. 709 から勧告 BT. 2020 への変換	勧告 BT. 709 の (狭) 色域から勧告 BT. 2020 の (広) 色域への色の変換方法を規定。	WP6C	新規	2015.10.14 まで郵便投票中
BS. [BW64] Doc. 6/450 (Rev. 1)	メタデータ付き音声番組の国際番組交換のための長形式音声ファイル形式	先進的音響システムを扱うための長形式の音声ファイル形式 BW64 を規定。	WP6B	新規	2015.10.14 まで郵便投票中

第7章 RAへの対処（SG7関連）

1 研究対象

SG7は、「科学業務」を研究対象としている。

2 RA-15に提出される勧告案

RA-15に提出されるSG7の勧告案はない。

3 RA-15に提出される決議案

RA-15に提出される決議案はない。

4 課題の見直し

SG7における次会期の研究課題及びその評価一覧を表7-3に示す。今会期は当初35件の研究課題があり、会期中に3件の追加、1件の改訂及び3件の削除を実施（回章によりRA-15までに完了予定。）。RA-15において承認が必要とされる改訂及び削除はない。次会期の研究課題は、我が国として、引き続き研究を支持する。

主な研究課題の概略は、以下のとおりである。

(1) 研究課題 244/7 (WP 7A 関係)

20-90 kHz で運用する標準周波数と標準時信号業務の混信

【概要】

長波標準電波の送信局間の干渉の定義、強度の測定方法、伝播計算手法やソフトウェアについて研究するもの。

(2) 研究課題 246/7 (WP 7B 関係)

宇宙研究業務（深宇宙）のための将来の帯域幅の要件

【概要】

2030年までに深宇宙研究ミッションのために必要な合計帯域幅などについて、研究するもの。

(3) 研究課題 226/7 (WP 7D 関係)

70 GHz 超の帯域における電波天文業務と他の業務との周波数共用

【概要】

70 GHz 超の周波数帯を電波天文業務と共用できる業務などについて、研究するもの。

5 参考事項

SG7は、2012年5月、2013年9月、2014年9月及び10月、2015年5月に開催され、25件の新規及び改訂勧告案が郵便投票に付され、承認されている。今会期中に郵便投票により承認された勧告リストを表7-4に示す。

重要課題の審議状況、勧告化の動向を以下に示す。

(1) ITU-R 勧告 TF.374-6 標準周波数および標準時の送信

ITU-R 勧告 TF.374-5 は、標準周波数及び標準時の送信について定めたものであり、本

改訂は、新たな衛星航法システムとしてヨーロッパの Galileo 衛星及び中国の BeiDou 衛星並びに本システムの利用周波数を追記するものであり、2014 年 10 月の SG7 において合意された。

(2) ITU-R 勧告 RS. 2065 9.6 GHz 帯の EESS(active)の不要放射による 8 400-8 450 MHz および 8 450-8 500 MHz 帯 SRS(宇宙から地球)の保護

本新勧告案は、9.6 GHz 帯の EESS(active)の不要放射による 8 400-8 450 MHz および 8 450-8 500 MHz 帯 SRS(宇宙から地球)の保護に関する検討結果をまとめたものであり、2014 年 10 月の SG7 において合意された。

表 7-1 RA-15に提出される勧告案の評価
(なし)

表 7-2 RA-15に提出される決議案
(なし)

表 7-3 次会期の研究課題及び評価

勧告番号	勧告名	概要及び評価	新規 継続 改訂 削除	備考
110-2/7	時間符号	[概要] 時間符号情報の送信のために推奨される種類及び形式などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7A
111-1/7	高精度時刻比較のためのアンテナ及び他の回路並びにその較正における信号遅延	[概要] 無線信号経路を通じた正確な時刻比較のためのアンテナ及び関連回路によって生じる遅延を決定及び特性化するために推奨される方法などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7A
118-2/7	データ中継衛星システムと他の業務のシステムとの周波数共用に影響する要因	[概要] データ中継衛星システムに使用される周波数帯を共用する業務、条件などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7B
129-3/7	科学業務の局から放射又は局により受信される不要発射	[概要] 実際の検討に基づき、他の業務を保護するため科学業務の宇宙及び地球局により放射される不要発射の電力に課されるべき制限などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7B WP7C WP7D
139-4/7	地球探査衛星システムのためのデータ送信	[概要] 異なる地球探査衛星データ送信システムの性能、混信、共用及び調整基準並びに運用特性などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7B
141-4/7	気象衛星システムのデータ送信	[概要] 異なる気象衛星データ送信システムの性能、混信、共用及び調整基準並びに運用特性について、研究するもの。	継続	WP7B

		[評価] 特に問題なし。		
145-2/7	電波天文観測の保護に 関係する技術要因	[概要] 電波天文業務のための望ましい周波数 帯などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7D
146-2/7	電波天文への混信の評 価のための基準	[概要] RR 第 1.169 条で定められるように有害 な混信の、電波天文業務のための実用的 な解釈などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7D
152-2/7	衛星からの標準周波数 及び標準時信号	[概要] 衛星からの標準周波数及び標準時信号 の発射の作成に重要な周波数を勧告す る際、また送信、変調及び受信技術を決 定する際に考慮される、技術要因及び定 量的測定について、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7A
207-3/7	デジタル通信リンクを 使用する時刻及び周波 数比較	[概要] 特定の時刻及び周波数比較アプリケー ションを支援するためのデジタル通信 技術に必要な性能特性などについて、研 究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7A
211/7	37-38 GHz 帯及び 40-40.5 GHz 帯にお ける宇宙研究業務と他の 業務との周波数共用	[概要] 37-38 GHz 帯及び 40-40.5 GHz 帯にお ける宇宙研究業務システムの技術特性及 び運用特性などについて、研究するも の。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7B
221/7	宇宙研究業務の観測 (受動)のための望ま しい周波数帯及び保護 基準	[概要] 宇宙研究(受動)観測システムの典型的 な技術及び運用特性などについて、研究 するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7C
222-2/7	月及び/又は惑星デー タ中継衛星による地球 局と月及び惑星ミッシ ョン間の無線リンク	[概要] 望ましい周波数帯及び帯域幅や月及び 惑星データ中継衛星の軌道要件など について、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7B
226-1/7	70 GHz 超の帯域にお ける電波天文業務と他の 業務との周波数共用	[概要] 70 GHz 超の周波数帯を電波天文業務と 共用できる業務などについて、研究す るもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7D
230-1/7	宇宙における電波天文	[概要]	継続	WP7D

	計測のための望ましい周波数帯及び保護基準	宇宙電波天文観測が実施される望ましい周波数帯などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。		
231/7	100 GHz 超で運用する地球探査衛星業務（能動）及び宇宙研究業務（能動）	[概要] 衛星搭載能動センサーの技術及び運用特性並びに性能要件などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7C
234/7	1215-1300 MHz 帯における地球探査衛星業務の能動センサーシステムと他の業務で運用するシステムとの周波数共用	[概要] 1215-1300 MHz 帯における地球探査衛星業務 (EESS) の衛星搭載能動センサーシステムと他の業務で運用するシステムとの周波数共用のための可能性及び条件などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7C
236-1/7	将来の協定世界時	[概要] 研究課題 ITU-R 236/7 は、将来の協定世界時の研究すべき事項を定めたものであり、議題 1.14 の議論の基となった研究課題である。そのため、本研究課題案は、世界無線通信会議 (WRC) 関連の研究課題であるという位置づけを明確にするため、研究課題のカテゴリーを C1※にすることを目的としている。 ※C1： 非常に緊急を要し、優先すべき研究で、次の世界無線通信会議のために必要とされているもの [評価] 特に問題なし。	継続	WP7A 今会期中に改訂実施
237/7	電波天文局における混信軽減の実施に関連する技術及び運用要因	[概要] 電波天文局による使用のために特定されている軽減技術の技術及び運用特性などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7D
238/7	時刻認証機関のための信頼できる時刻源	[概要] 時刻認証機関 (TSA) に認証された UTC(k) 時刻を提供するための適切な手段などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7A
239/7	機器時間符号	[概要] 計時センター及びシステム内で使用されるさまざまな機器時間符号や信号などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7A

242/7	電波静穏地帯	[概要] 既存の電波静穏地帯の特性などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7D
244/7	20-90 kHz で運用する標準周波数と標準時信号業務の混信	[概要] 長波標準電波の送信局間の干渉の定義、強度の測定する方法、伝播計算の必要な方法やソフトウェアについて研究するもの。 [評価] 特段の問題はない。	継続	WP7A
245/7	電気源から生じる雑音 が長波帯標準周波数及び標準時信号業務へ与える混信	[概要] 長波 (LF) 帯で測定される信号の強度及び信号対雑音比、使用される機器などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7A
246/7	宇宙研究業務 (深宇宙) のための将来の帯域幅の要件	[概要] 2030 年までに深宇宙研究ミッションのために必要な合計帯域幅などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7B
247/7	有人宇宙飛行のための非常無線通信	[概要] 有人宇宙船と地球局及び宇宙局間の非常無線通信チャンネルのための運用状況及び運用要件などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7B
248/7	世界航行衛星システム (GNSS) 及びその補強からの時刻情報	[概要] 相互に関連する世界航行衛星システム (GNSS) システム間からの時間信号などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7A
249/7	「高度」長距離航行用援助 (eLORAN) からの時間及び周波数情報	[概要] 高度長距離航行用援助 (eLORAN) の時間及び周波数の使用のための地域的範囲などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7A
250/7	衛星双方向時刻周波数比較 (TWSTFT) の利用及び改善	[概要] 時刻比較の精度及び周波数比較の精度について、IF 変調特性、RF 搬送波周波数及びトランスポンダの利用可能周波数帯を運用パラメータとして、TWSTFT を使用して実現される性能レベルの依存関係などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7A
251/7	地上受動センサー	[概要]	継続	WP7C

		地上受動観測の主な種類及び主な応用などについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。		
252/7	分散電波天文システムの登録に必要なパラメータ	[概要] 効果的な保護を確保するために、拡張地域を含みうる分散電波天文システムを登録するときに、RR の付録第 4 号に含まれるパラメータに加えて、又はパラメータの代わりに特定されるべきパラメータについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7D
253/7	地球の近傍及び太陽系における時刻及び周波数の比較における相対論的効果	[概要] 地球の近傍及び太陽系における時刻及び周波数の比較における相対論的効果を説明する概念的基礎及び適切な数学アルゴリズムなどについて、研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7A
254/7	ナノ衛星及びピコ衛星を用いる衛星システムの特性及びスペクトラム要求	[概要] 重量が 0.1～10Kg で寸法が 0.5m 以下であるナノ衛星及びピコ衛星は、一般的なより大きな衛星とは特性が異なっており、現在、500 を超える衛星が開発中である。大部分のナノ衛星及びピコ衛星はアマチュア衛星業務や気象衛星業務として運用しているが、将来的には衛星のミッションがこれらの業務に合致しなくなる可能性がある。また、増加しつつあるナノ衛星及びピコ衛星により、現在使用されている周波数帯域が圧迫されている状況がある。 これらの状況を踏まえ、当新研究課題は、新技術の開発のため、執られるべき技術及び規制措置を検討し、関連する WRC 議題を支援することを目的としている。 研究すべき課題として、以下のものを挙げている。 1 ナノ衛星及びピコ衛星とデータ伝送速度や伝送時間、帯域幅に定義される無線周波数の利用という観点から見た衛星独自の特性は何か。 2 衛星独自の特性を考慮し、ナノ衛星及びピコ衛星に必要な周波数量はどれだけか。 3 ナノ衛星及びピコ衛星を使用する衛星システムは、どの無線通信業務の下で運用されるか。 なお、本研究結果は 1 つ以上の勧告又は報告に反映されることとなり、研究の終	継続	WP7B 今会期中に新規追加

		了期限は 2015 年である。 [評価] 特に問題なし。		
255/7	地球探査衛星 (EESS) (受動) センサーに対する電磁干渉問題の検知と解決策	[概要] 本研究課題案は、EESS の受動センサーに対する電磁干渉問題について、その検知や解決策を報告書としてまとめることを目的とするもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7C 今会期中に新規追加
256/7	宇宙天気観測	[概要] 本研究課題は、衛星に設置される宇宙天気観測センサが受信した観測データについて、地上局と通信する場合に適用される。この通信に関する無線業務、使用に適している周波数帯、技術・運用特性について研究を行うことを目的とするものである。 [評価] 特に問題なし。	継続	WP7C 今会期中に新規追加

表 7-4 今会期中に承認された勧告

勧告番号	勧告名	勧告の内容及びコメント	関連WP /課題番号	新規改訂 削除	備考
TF. 374-6	標準周波数及び標準時の送信	ITU-R 勧告 TF. 374-5 は、標準周波数及び標準時の送信について定めたものであり、本改訂は、新たな衛星航法システムとしてヨーロッパの Galileo 衛星及び中国の BeiDou 衛星並びに本システムの利用周波数を追記するためのものである。	WP7A / 152-2/7, 244/7, 248/7, 250/7	改訂	2014. 12 CACE/703
TF. 686-3	時刻や周波数に関する用語や定義	勧告 ITU-R TF. 686-2 は、時刻や周波数に関する用語や定義を定めたもの。本改訂案は、本勧告の用語のアップデートや追加を行い、ITU-R 及び ITU-T 勧告並びに他の国際的な基準との多くの相違点を一致させることを目的としている。	WP7A/N/A	改訂	2013. 12 CACE/651
TF. 2018-0	地球の近傍及び太陽系における相対論的時刻比較	本勧告は、地球の表面における時計と地球から遠いが太陽系内のプラットフォームにおける時計を比較する際に使用されるための、共通の従来アルゴリズム及び手続を定めることを目的としている。 これらの式は、時空規準系の基礎を形成するために現在認められている一般相対性理論で明確に決められてい	WP7A / 253/7	新規	2012. 8 CACE/583

		る。これらのアルゴリズム及び手続は、地球の衛星や惑星間宇宙船における時計と、太陽系の天体の表面における時計の比較のために使用されることが想定される。			
SA. 509-3	30 GHz 帯以下で運用される宇宙研究業務 (SRS) 地球局及び電波天文業務 (RAS) の干渉解析に使用されるアンテナ放射パターン	勧告 ITU-R SA. 509-2 は、SRS 及び RAS のシングルエントリーと複数局からの干渉解析に使用されるアンテナ放射パターンを定めたもの。本改訂案は、アンテナ放射パターンに関する記述をアップデートすることを目的としている。	WP7B 127/7	改訂	2013. 12 CAGE/649
SA. 1155-1	DRS システムの運用に関する保護基準	勧告 ITU-R SA. 1155 は、DRS の運用保護基準をまとめたもの。本改訂案は、参照する勧告及び報告並びに保護基準のアップデートを行い、I/N 値を見直すことを目的としている。	WP7B/N/A	改訂	2013. 12 CAGE/649
SA. 1275-4	2200-2290 MHz 帯で運用される固定業務 (FS) システムの発射から保護すべきデータ中継衛星 (DRS) の軌道位置	勧告 ITU-R SA. 1275-3 は、2200-2900 MHz 帯における FS システムの電波放射から保護されるべき DRS の軌道位置をまとめたもの。本改訂案は、2011 年 2 月の改訂以降に追加となった軌道位置情報を追加することを目的としている。	WP7B/N/A	改訂	2013. 12 CAGE/651
SA. 1276-4	25. 25-27. 5 GHz 帯で運用される FS システムの発射から保護すべき DRS の軌道位置	勧告 ITU-R SA. 1276-3 は、25. 25-27. 5 GHz 帯における FS システムの電波放射から保護されるべき DRS の軌道位置をまとめたもの。本改訂案は、2011 年 2 月の改訂以降に追加となった軌道位置情報を追加することを目的としている。	WP7B/N/A	改訂	2013. 12 CAGE/651
SA. 1414-1	データ中継衛星 (DRS) システムの特性	勧告 ITU-R SA. 1414 は、DRS システムの特性を定めたもの。本改訂案は、DRS に関する中国、ロシア及び米国のパラメーター並びにユーザー情報を更新することを目的としている。	WP7B 118/7	改訂	2013. 12 CAGE/649
SA. 1626-1	14. 8-15. 35 GHz 帯で運用される宇宙研究業務 (SRS) (宇宙から地球) と FS 及び移動業務 (MS) の共用実現性	勧告 ITU-R SA. 1626 は、14. 8-15. 35 GHz 帯における SRS (宇宙から地球) と FS 及び MS との共用実現性に関する研究をまとめたもの。本改訂案は、長楕円軌道において高速データ通信を行う将来の SRS missions の特性を追加することを目的としている。	WP7B/N/A	改訂	2013. 12 CAGE/651
SA. 2044-0	401-403 MHz 帯で運用される non-GSO のデータ収集システム (DCS) の保護基準	本勧告案は、共用検討に用いられる 401-403 MHz 帯で運用する non-GSO の DCS の現在の使用状況及び将来の使用状況をまとめたものである。	WP7B/N/A	新規	2013. 12 CAGE/649
SA. 2045-0	GSO 及び non-GSO の気象衛星並びに地球探査衛星業務 (E ESS) システムの DCS の長期的な利用の	本勧告案は、401-403 MHz 帯における DCS の運用特性及び干渉保護基準をまとめたもの。	WP7B/N/A	新規	2013. 12 CAGE/649

	ための 401-403 MHz 帯の周波数の分割条件及び共用条件				
RS. 515-5	衛星受動探査に使用される周波数帯及び帯域幅	本勧告の改訂の目的は、決議 950 (WRC-07、改) 及び WRC-12 議題 1.6 を支援する研究を基に、275 GHz 超の衛星受動遠隔探査に関する情報を含め、更新することである。加えて、現在では使われていない 275 GHz 以下の帯域の情報が、適切に削除又は更新されている。	WP7C/N/A	改訂	2012. 8 CACE/583
RS. 2017-0	衛星受動遠隔探査の性能及び混信基準	本勧告は、衛星受動遠隔探査の性能基準に関する既存の ITU-R 勧告 RS. 1028 と衛星受動遠隔探査の混信基準に関する ITU-R 勧告 RS. 1029 で与えられる情報を結合し、一つにするものである。加えて、結合した本勧告では、275-1000 GHz の情報を更新している。既存の ITU-R 勧告 RS. 1028 及び RS. 1029 は現在独立しており、これらの二つの勧告の結合により生じる問題を取り除いている。	WP7C/N/A	新規	2012. 8 CACE/583
RS. 1028-2	衛星受動遠隔の性能基準	衛星受動遠隔探査の性能及び混信基準に関する ITU-R 勧告 RS. 2017 が作成されたことを受け、削除が提案されたものである。		削除	2012. 8 CACE/583
RS. 1029-2	衛星受動遠隔探査の混信基準	衛星受動遠隔探査の性能及び混信基準に関する ITU-R 勧告 RS. 2017 が作成されたことを受け、削除が提案されたものである。		削除	2012. 8 CACE/583
RS. 2042-0	40-50 MHz 帯で運用する人工衛星レーダーサウンダーシステムの典型的な技術特性及び運用特性	本勧告案は、共用検討に用いられる 40-50 MHz 帯で運用する衛星レーダーサウンダーシステムの典型的な技術特性及び運用特性を定めたものである。	WP7C/N/A	新規	2014. 2 CACE/662
RS. 2043-0	9600 MHz 帯で運用する地球探査衛星業務（能動）の合成開口レーダーの特性	本勧告案は、同一又は隣接周波数帯における他の無線業務との共用検討及び両立性検討のため、9600 MHz 帯で運用する地球探査衛星業務（能動）の合成開口レーダーの特性を定めたもの。なお、当該帯域においては、100 MHz から 1200 MHz 幅に及ぶバンド幅で送信を行う様々なリモートセンシング衛星システムが運用しているとのことである。	WP7C/N/A	新規	2014. 2 CACE/662
RS. 2064-0	SRS (passive) の技術・運用特性および周波数帯	本新勧告案は、惑星観測に用いられる SRS (passive) の技術・運用特性および周波数帯を提供するものである。	WP7C/N/A	新規	2015. 1 CACE/705
RS. 2065-0	9.6 GHz 帯の EESS (active) の不	本新勧告案は、9.6 GHz 帯の EESS (active) の不要放射による 8	WP7C/N/A	新規	2015. 1 CACE/705

	要放射による 8 400-8 450 MHz および 8 450-8 500 MHz 帯 SRS(宇宙から地球)の保護	400-8 450 MHz および 8 450-8 500 MHz 帯 SRS(宇宙から地球)の保護に関する検討結果をまとめたものである。			
RS. 2066 -0	10.6-10.7 GHz 帯における電波天文業務の 9.6 GHz SAR の不要輻射からの保護	本新勧告案は、10.6-10.7 GHz 帯における電波天文業務の 9.6 GHz SAR の不要輻射からの保護に関するものである。	WP7C / N/A	新規	2015. 1 CACE/705
RA. 1417 -1	太陽-地球 L2 ラグランジュ点近傍の電波静穏地域	勧告 ITU-R RA. 1417 は、太陽-地球 L2 ラグランジュ点近傍の電波静穏地域における RAS の保護を定めたもの。本改訂案は、L2 近傍における保護対象を RAS 及び SRS (受動) とする修正等を行うことを目的としている。	WP7D / N/A	改訂	2013. 12 CACE/649
RA. 1513 -2	電波天文業務に一次分配された周波数帯における干渉に起因するデータ損失	本勧告改訂案は、電波天文業務に一次分配された周波数帯における干渉に起因するデータ損失の上限を規定する勧告であり、本文書は 1 秒以内のパルス性の干渉に関する検討結果を追記するための改訂案である。	WP7D / N/A	改訂	2015. 4 CACE/718
SA. 2078 -0	2200-2290MHz 帯における移動(航空)局からの SRS 地球局の保護	本勧告案は、2200-2290MHz 帯の航空機局からの SRS 地球局の保護について定めたものである。	WP7B / N/A	新規	2015. 8 CACE/748
SA. 2079 -0	37.5-38GHz 帯の FSS (宇宙から地球) システムと SRS との周波数共用	本勧告案は、37.5-38GHz 帯における SRS と FSS (宇宙から地球) との共用について定めたものである。	WP7B 211/7	新規	2015. 8 CACE/748
TF. 1153 -4	疑似乱数を用いた衛星双方向時刻周波数比較の演算	本勧告は、衛星双方向時刻周波数比較について定めたものであり、本改訂は、衛星双方向時刻周波数比較について、より精度を向上させるためのものである。	WP7A 250/7	改訂	2015. 8 CACE/748

第8章 RAへの対処（RAG関連）

1 研究対象

無線通信諮問委員会（RAG）は、無線通信部門（ITU-R）における優先順位や戦略の検討、研究委員会（SG）の活動の指針の策定、ITUの他部門との協力や調整の促進等を行い、無線通信局長に助言することを任務としている。なお、今会期中のRAG会合は、2012年6月、2013年5月、2014年6月、2015年5月に開催された。

2 RA-15で審議が想定されるITU-R決議の見直し案

RA-15で審議が想定されるITU-R決議は7件。主な検討事項として以下が挙げられる。

- (1) 作業方法の見直し（決議1）
- (2) 各SGの作業プログラムの見直し（決議5）
- (3) 電気通信標準化部門との連携及び協力（決議6）

3 主な検討事項と検討状況

RAGでの主な検討事項について、2015年5月に開催された第22回会合での検討結果の概要を以下に示す。

(1) 作業方法の見直し（決議1）

決議ITU-R1-6の構成の見直しのために設置されたコレスポネンスグループ（CG）からの報告として、同決議のPART1「作業方法（Working Methods）」の見直し案においては、ITU-Rのそれぞれの関連会合（RA、SG、RAG、CPM（会議準備会合）、SG（手続に関する特別会合）、CCV（言語に関する調整会合））について、機能（Function）、構成（Structure）等を明確に定義し整理する案が提示された。また、PART2「文書作成（Documentation）」の見直し案においては、現行決議ではITU-R文書のうちレポート、ハンドブック、意見（Opinions）及び決定（Decisions）の作成、改訂及び削除に関する承認手続の詳細が明記されていないことから、これらの文書にそれぞれ対応する承認手続案が提示された。

これに対して、ITU-Rの各文書の性質によって適切な承認手続を検討すべきとの議論がなされ、本会合中の議論を踏まえ修正されたCGレポートをRAG議長報告に添付した上で、RA-15に向け、各国における更なる内容の精査が要請された。なおCGについては本会合をもって解散された。

(2) 各SGの作業プログラムの見直し（決議5）

日韓共同の改訂提案として、決議ITU-R5-6中に「研究課題を有さない」研究について明示した上で、研究課題を有する研究と有さない研究との間の基準は研究会期を超えて研究を継続するか否かであり、会期を超える場合には、RAにおいて研究課題を設定・承認する必要があるとの脚注を追加する旨を提案した。

同時に、研究課題の有さない研究の周知方法として、ITUウェブページの活用等が考えられる旨併せて提案した。

これに対して、決議ITU-R 1-6と決議ITU-R 5-6との記述の整合をとる必要があるため、日韓両国に対して改めてRA-15に対する直接の入力が要請された。

(3) 電気通信標準化部門との連携及び協力（決議6）

ITU-Rと電気通信標準化部門（ITU-T）との関係について、2012年に開催されたRA-12及び第19回RAG会合において、両セクターの共通関心事項について連携して研究を推進すべきとの寄与文書が提出されたことをきっかけとして、ITU-R 6-1（電気通信標準化部

門との連携及び協力)の見直しに関するコレスポネンスグループが設置された。

第 22 回 RAG 会合においては、特定の課題について検討するセクター間ラポータ会合の作業方法案を提案する決議 ITU-R 6-1 の改訂案が提示された。

RAG 会合において審議した結果、提案された決議 ITU-R 6-1 改訂案について、RAG として合意するとともに RA-15 に送り審議することを承認した。

表 8-1 RA-15において見直しが想定される ITU-R 決議及び評価

決議番号	決議名	概要及び主な論点	評価	備考
1-6	無線通信総会、無線通信研究委員会及び無線通信アドバイザーグループの作業方法	<p>[概要] RA、SG、RAG についての任務、勧告承認手続等の各種手続、文書の位置付け等の作業方法</p> <p>[論点] ・ ITU-R 関連会合の機能、構成等の定義の明確化 ⇒ ITU-R 関連会合（RA、SG、RAG、CPM、SC（手続に関する特別会合）、CCV（言語に関する調整会合））について、読みやすさを向上させるため、機能、構成等を明確に定義して整理するもの。 ・ レポート、ハンドブック、意見及び決定の承認/改訂手続等の見直し ⇒ 現行決議では ITU-R 文書のうち、レポート、ハンドブック、意見及び決定の作成、改訂及び削除に関する承認手続の詳細が明記されていないことから、これらの文書にそれぞれ対応する承認手続案を作成するもの。</p>	我が国からもコレスポネンスグループへの寄書入力を行い、積極的に作業に貢献している課題であり、RA-15 に向けて我が国から寄書を入力するものであるため、作業方法の改善に向けて、積極的に対処する。	
2-6	CPM	<p>[概要] CPM 会合の作業方法及び CPM レポートに関するガイドライン</p> <p>[論点] ・ CPM レポート案の 6 公用語の翻訳版おける、CPM レポート案の公表期限と CPM-2 会合への寄書提出期限の整合 ⇒ CPM レポート案の 6 公用語版の公表期限及び CPM-2 会合への入力文書の提出期限について不備があったため、両者の整合が取れるように以下のとおり修正するもの。 （現行） 公表期限：CPM-2 会合開催日の 2 ヶ月前 提出期限：CPM-2 会合開催日の 3 ヶ月前 （改訂案） 公表期限：CPM-2 会合開催日の 3 ヶ月前 提出期限：CPM-2 会合開催日の 2 ヶ月前</p> <p>・ 各議題を満足する方法（Method）のメリット・デメリットの記載 ⇒ CPM レポートの分量をできるだけ少なくすべきとの観点から、Method ごとに記述されるメリット及びデメリットの数をそれぞれ 3 にするという原則を維持したメリット・デメリットに各 Method の賛否の意見を記述することをやめ、単に事実関係のみで構成すべ</p>	<p>・ CPM レポート案の 6 公用語の翻訳版に関する規定に係るものであり、我が国に直接関係するものではないため、静観して差し支えない。</p> <p>・ メリット・デメリットの記載については、我が国としては、CPM レポートの準備にかかる労力を削減すべきという観点は理解できる一方、これまで RAG 会合や APG 会合へ入力された提案ではどのようにガイドラインを改善するのが明確でないため、ガイドラインの改定により CPM レポートの作成作業が改善されるのかどうかという観点到留意し、必要に応じて適宜対処する。</p>	

		きとするもの。		
5-6	各 SG の作業プログラム	<p>[概要] 各 SG に割り当てられた研究課題及びその作業に関する規定</p> <p>[論点] ・研究課題の有無による研究の区別及び研究課題のない研究の加盟国への周知方法 ⇒研究課題を有する研究と有さない研究との基準を明記し、会期を超える場合には、RA において研究課題を設定・承認する必要があるとの脚注を追加するもの。また、研究課題の有さない研究の周知方法として、ITU ウェブページの活用等を提案するもの。</p>	<p>本年 5 月の RAG 会合において日韓共同提案として寄書を入力したものであり、当該提案が RA-15 会合において承認されるよう寄書を提出するとともに会合の場において積極的に対処する。</p>	
6-1	ITU-T との連携及び協力	<p>[概要] ITU-R 及び ITU-T の作業分担及び協力方法について規定するもの。</p> <p>[論点] ・ITU-R 及び ITU-T の今後の協力体制 ⇒両セクター間に共通する課題の増加を背景として、そのような課題について検討するセクター間ラポータグループの作業方法を提案するもの。</p>	<p>セクター間の協力を推進するものであり、適宜支持する。</p>	
9-4	他の関連機関（特に ISO 及び IEC）とのリエゾン及び協力	<p>[概要] 他の関連機関との協力方法等に関する規定</p> <p>[論点] ・リエゾン及び協力を図る機関の追加 ⇒リエゾン及び協力を図る機関に国際民間航空機関（ICAO）や国際海事機関（IMO）等との連携について追記するもの。</p>	<p>我が国としては特段問題ないため、静観して差し支えない。</p>	
15-5	SG における議長及び副議長の任命・任期	<p>[概要] SG 等の議長職及び副議長職の任命・任期に関する規定</p> <p>[論点] ・WP の議長及び副議長の任期について記載の是非 ⇒SG 議長及び副議長の任期及び任命手続は決議に規定されている一方、WP 議長の任期及び任命手続は規定されていないため、当該任期を SG 議長及び副議長の任期と同様にするもの。</p>	<p>我が国としては、本件については主要会合議長ポストの議論であり、慎重に対応する。</p>	
38-4	規則/手続き事項の研究	<p>[概要] 規則/手続き事項に関する規定</p> <p>[論点] ・SC の議長及び副議長の任期や任命手続</p>	<p>我が国としては、CPM と SC とで議長の任期が異なることで特段の問題が発生しているとは認められないこと、また、本件については主要会合議長ポストの議論であり、</p>	

		<p>の明記の是非 ⇒GPM 議長・副議長の任期や任命手続きは決議に規定されている一方、SC 議長・副議長の任期や任命手続きは規定されていないため、当該任期を GPM 議長・副議長の任期と同様にするもの。</p>	<p>他の ITU-R 要職ポストの考え方にも関連しうることから、慎重に対応する。</p>	
--	--	---	---	--